

平成 30 年度芸術文化に関する市民アンケート
調査結果報告書

平成 30 年 10 月

大野城市

地域創造部コミュニティ文化課

もくじ

第1部 調査の概要

1 調査目的	2
2 調査対象	2
3 設問数	2
4 調査方法	2
5 調査期間	2
6 回収結果	2
7 報告書の見方	3

第2部 調査の結果

問1～6 属性	5
問7 芸術文化の鑑賞頻度	11
問8 芸術文化の鑑賞場所	13
問9 芸術文化を鑑賞しなかった理由	14
問10 芸術文化の活動頻度	16
問11 芸術文化の活動場所	18
問12 芸術文化の活動をしなかった理由	19
問13 芸術文化の必要性	21
問13-1 問13の理由	23
問14 芸術文化の情報入手手段	25
問15 市の文化事業の認知度	26
問16 まどかぴあの文化事業の認知度	28
問17 芸術文化施策への満足度	30
問18 世代ごとの芸術文化活動の必要性	32
問19 具体的な施策の必要性	33
問20 芸術文化のまちづくりへの参加意欲	35
問21 芸術文化のまちづくりへの提案	37

第3部 調査票

平成30年度芸術文化に関する市民アンケート調査	40
-------------------------	----

第 1 部 調査の概要

1 調査目的

大野城市芸術文化振興プランの策定にあたり、芸術文化に関する現状と課題や市民意識について把握の上、芸術文化を通じたコミュニティによるまちづくりについて今後取り組むべき施策を検討していく際の基礎資料とします。

2 調査対象

①18歳以上の市民（平成30年6月1日時点）のうち、各行政区の人口比例配分の方法により抽出した2,000人

②おおの山城大文字まつりにおける無作為抽出による街頭アンケート102人

3 設問数

21問（属性に関する設問6問を含む）

4 調査方法

①郵送による配布・回収

②おおの山城大文字まつりにおける無作為抽出による街頭アンケート

5 調査期間

平成30年8月9日～平成30年8月31日

6 回収結果

区分		発送票 (①郵送)	実数 (※1)	回収票 (①郵送)	回収率 (①郵送)	回収票 (②街頭)	回収率 (①+②)
全体		2,000	1990	806	40.5%	102	45.6%
年代別	10代	55	54	13	24.1%	12	46.3%
	20代	257	254	69	27.2%	29	38.6%
	30代	406	402	125	31.1%	28	38.1%
	40代	410	408	149	36.3%	24	42.3%
	50代	331	331	147	44.4%	3	45.3%
	60代	307	307	167	54.4%	1	54.7%
	70代以上	234	234	129	55.1%	5	57.3%
	無回答	—	—	7	—	—	—
地区別	南地区	642	641	247	38.5%	14	40.7%
	中央地区	698	695	290	41.7%	36	46.9%
	東地区	339	338	127	37.6%	15	42.1%
	北地区	321	316	130	41.1%	24	48.7%
	無回答	—	—	12	—	13	—

※1 宛名不明等の理由により、差し戻された分を除いた値

【人口 10 万人に対する必要なサンプル数について】

許容誤差± 5 %、信頼度 95%と設定したうえで、人口 10 万人に対し、必要なサンプル数は 400 です。そのため、本アンケート結果はサンプル数を超えており、「実態からのずれ」は少ないと考えられます。

【おおの山城大文字まつりにおける無作為抽出による街頭アンケート】

郵送での市民アンケート集計後、年代によって回収率にバラつきがあり、10 代から 40 代については、平均回収率に達していなかったことから、各年代においてより公平な意見を聴取する必要があるため、おおの山城大文字まつりにおいて、10 代から 40 代を中心に無作為抽出による街頭アンケートを行いました。街頭アンケートを集計したところ、回収率から見た各年代の偏差も、構成比から見た各年代の偏差も、街頭アンケートを行ったことにより差が減少したことから、各年代においてより公平な意見が聴取できたと言えます。

《回収率から見た各年代の偏差》

街頭アンケート実施前：11.8 ⇒ 街頭アンケート実施後⇒：6.9

《年代別構成比から見た各年代の偏差》

街頭アンケート実施前：3.6 ⇒ 街頭アンケート実施後⇒：2.2

7 報告書の見方

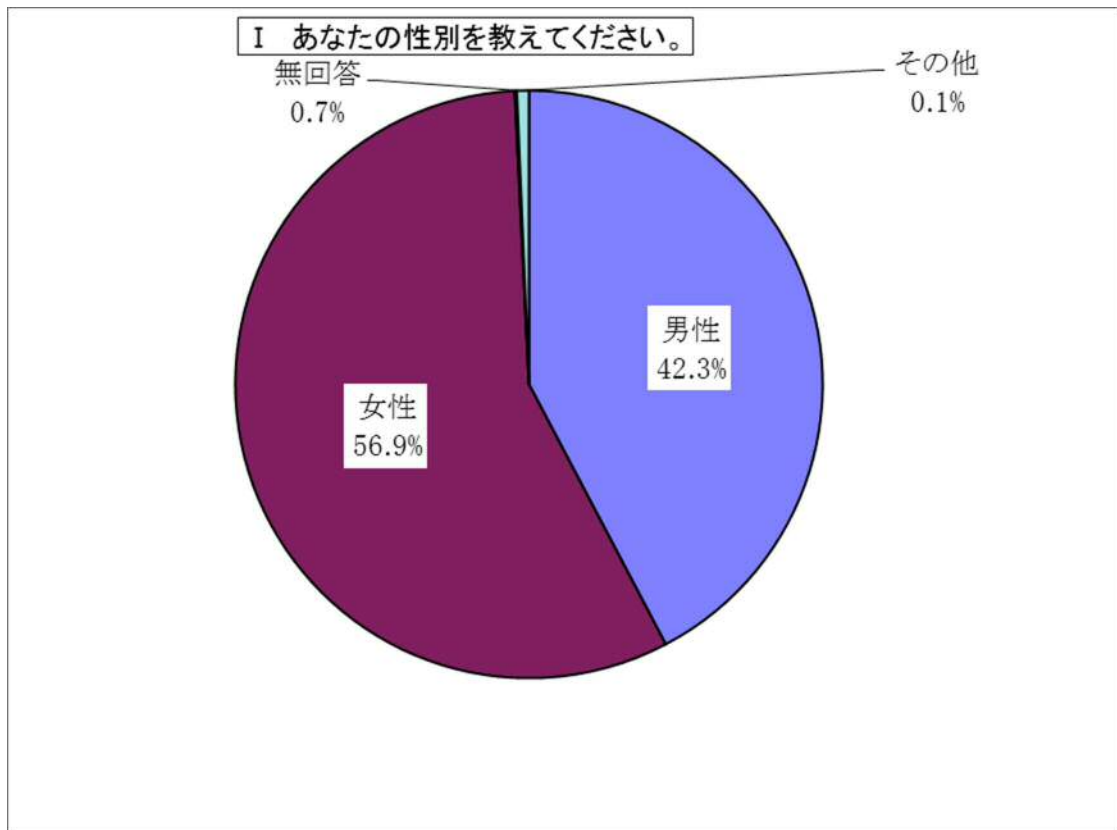
- (1) 単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の基数（標本数）を 100%としています。なお、回答率（%）は小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、図表に示す回答率の合計は必ずしも 100%にならない場合があります。
- (2) 2 つ以上の回答を要する（複数回答）質問の集計については、項目別に、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としています。従って、図表に示す各項目の回答率の合計は 100%を超える場合があります。
- (3) 基本的に回答の原文をそのまま転記していますが、設問の内容と合わない回答内容などについては、一部削除等を行っています。

第2部 調査の結果

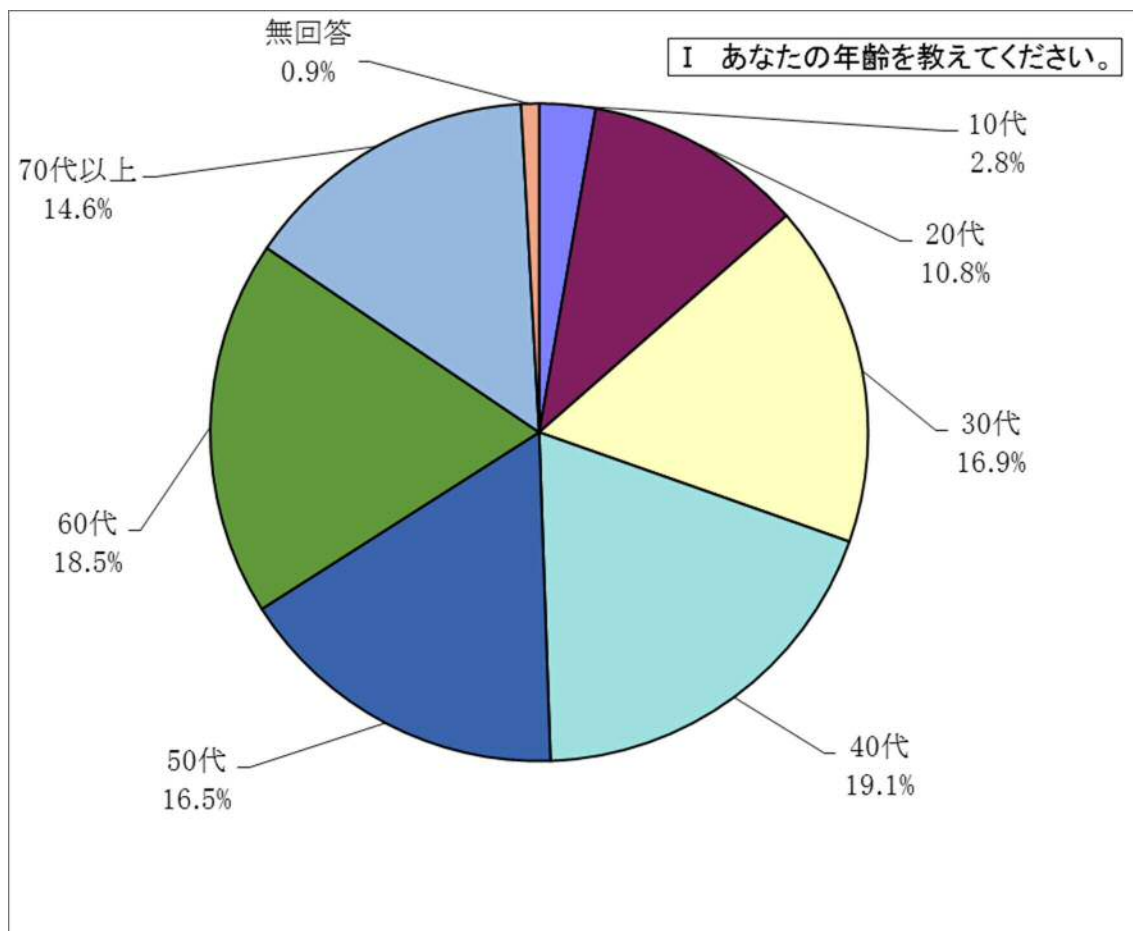
I あなたのことについて

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○をつけてください)

○男性が 42.3%、女性が 56.9%となっています。

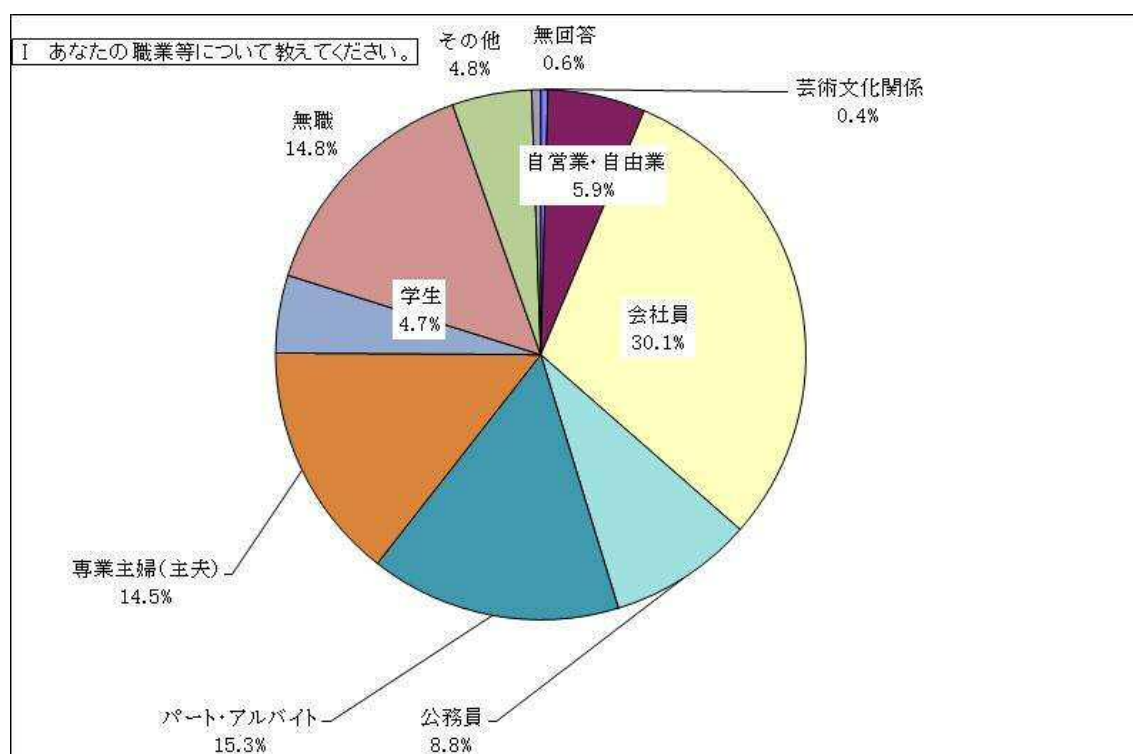


問2 あなたの年齢を教えてください。(1つに○をつけてください)

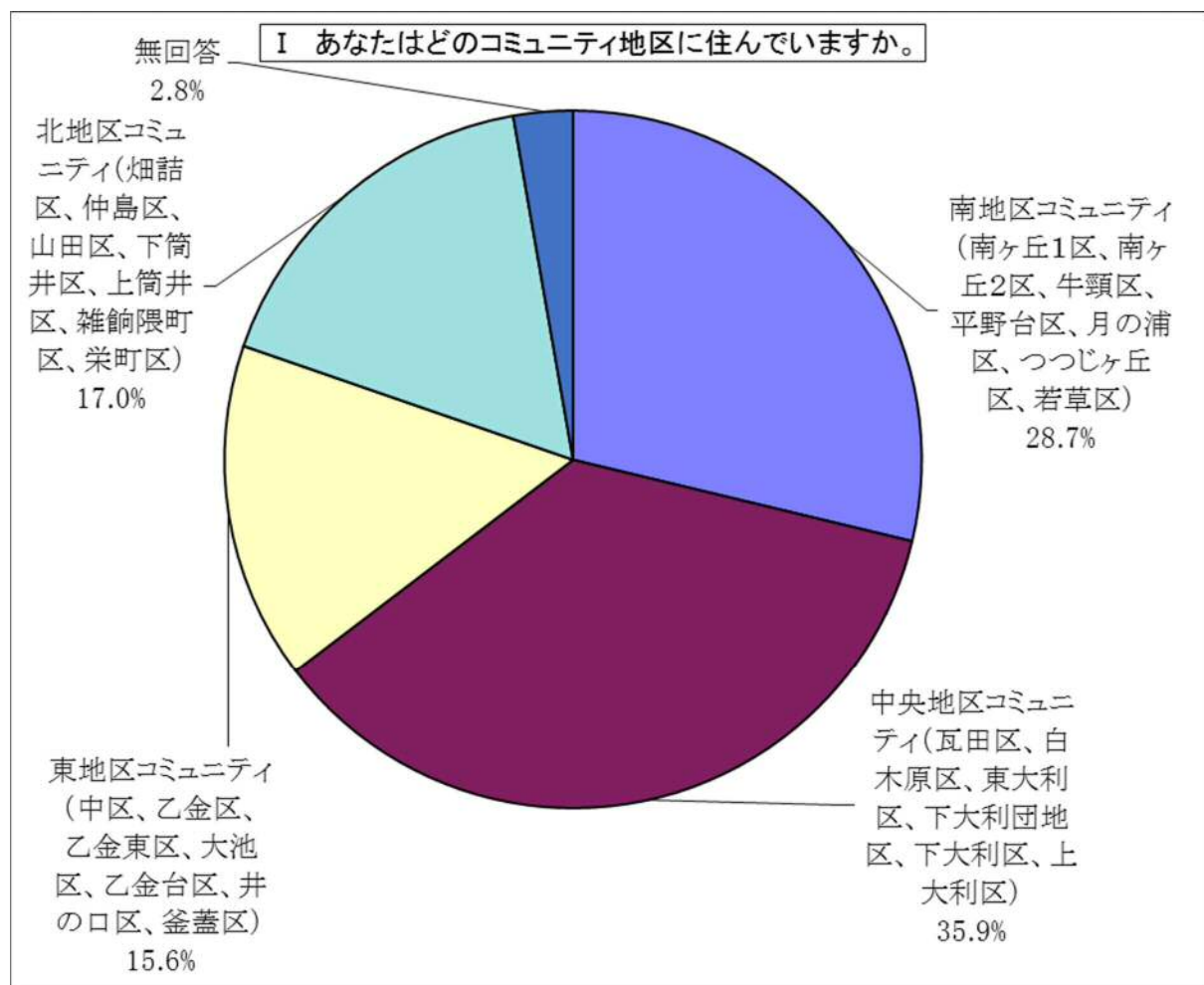


問3 あなたの職業等について教えてください。(1つに○をつけてください)

○回答割合の高い順に、「会社員」が30.1%、「無職」14.8%、「専業主婦(主夫)」14.5%、「パート・アルバイト」15.3%、「公務員」8.8%、「自営業・自由業」5.9%、「学生」4.7%と続いています。

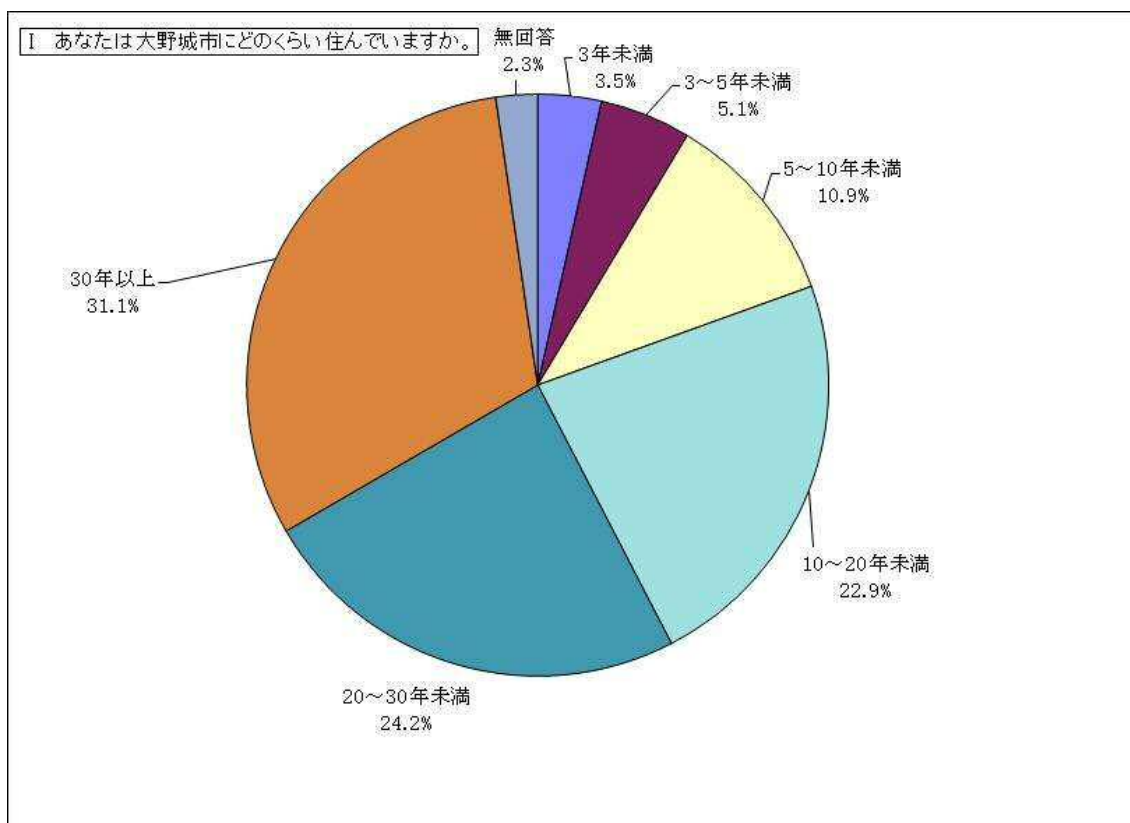


問4 あなたはどのコミュニティ地区に住んでいますか。(1つに○をつけてください)



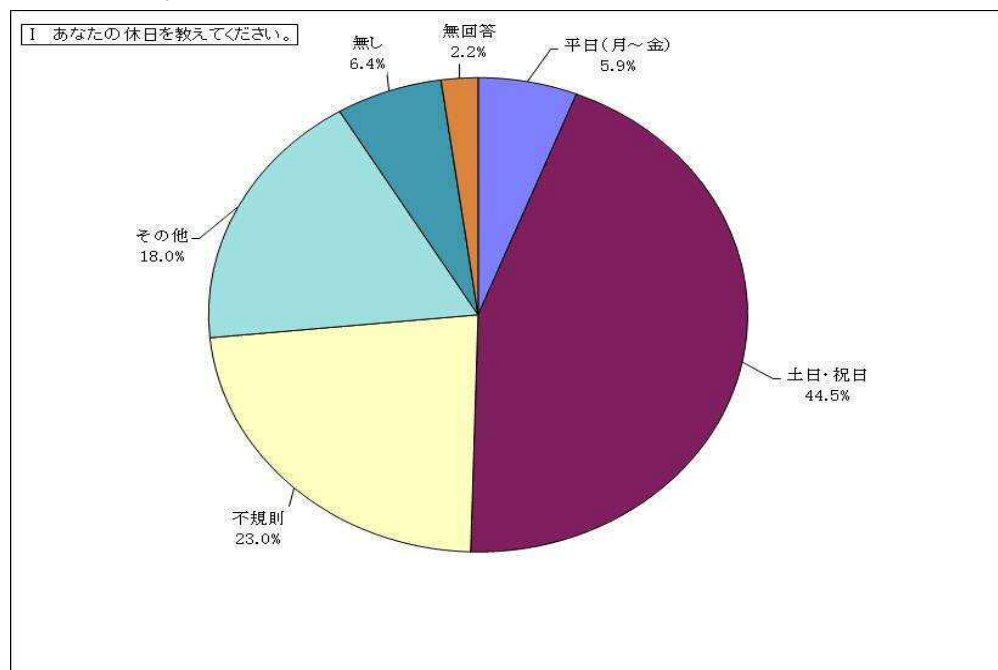
問5 あなたは大野城市にどのくらい住んでいますか。(1つに○をつけてください)

○回答割合の高い順に、「30年以上」が31.1%、「20～30年未満」が24.2%、「10～20年未満」が22.9%、「5～10年未満」が10.9%、「3～5年未満」が5.1%、「3年未満」が3.5%となっています。



問6 あなたの休日を教えてください。(1つに○をつけてください)

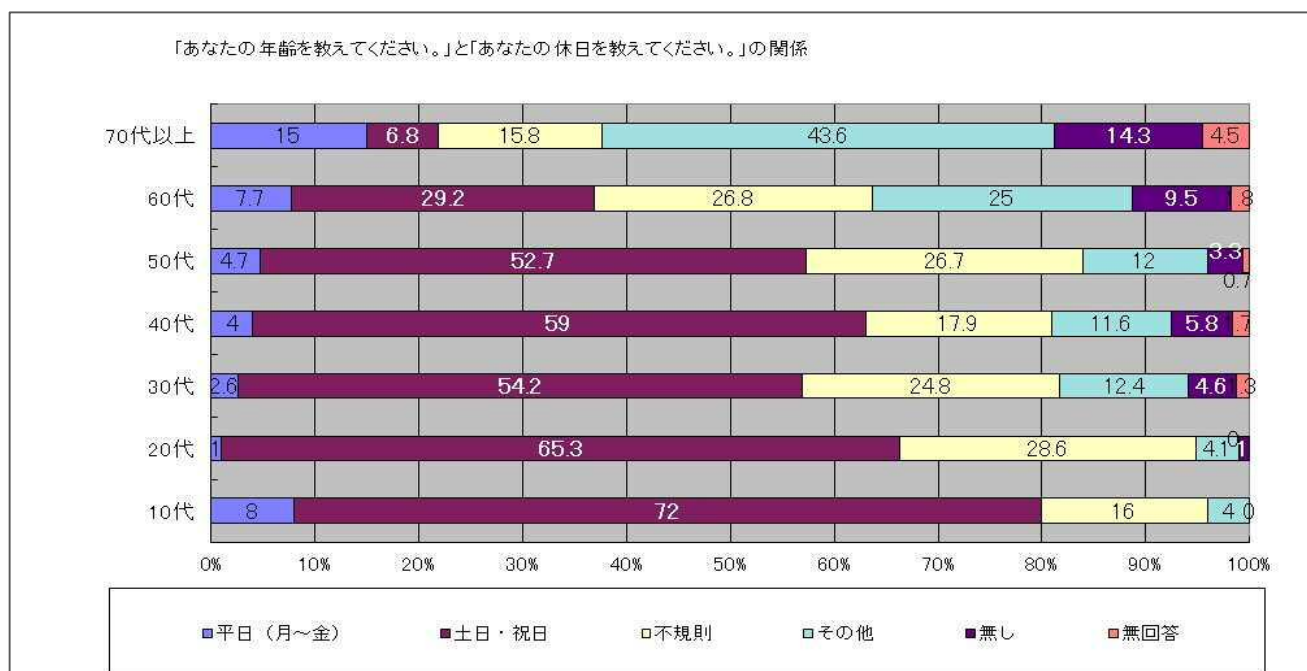
○「土日・祝日」が44.5%で最も高くなっています。次いで、「不規則」が23.0%です。



【年代別】

○10代から50代までは、「土日・祝日」が5割を越えており、主な休日になっています。

○すべての年代で、「不規則」が2割～3割となっています。

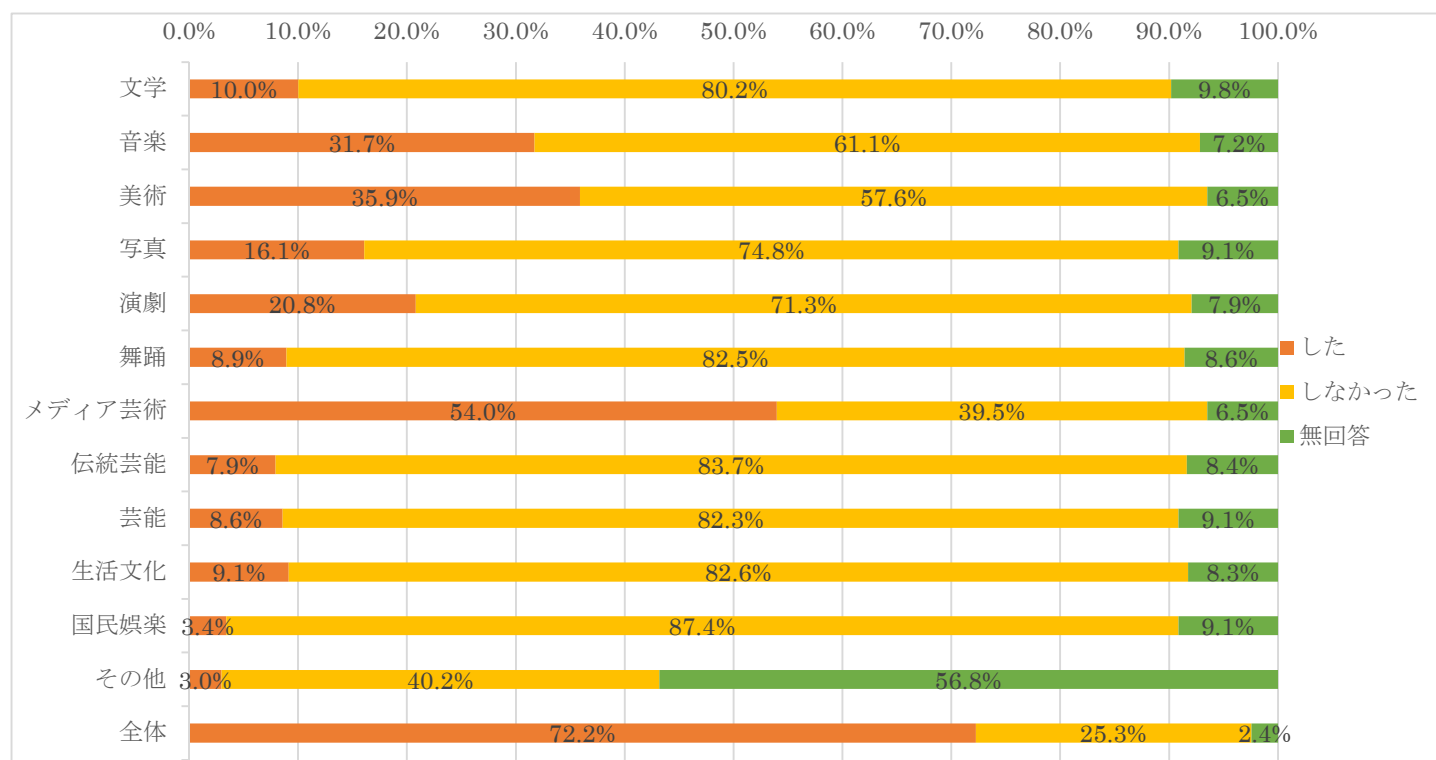


Ⅱ 芸術文化活動について

問7 この1年間に、どのくらいの頻度で、外出して芸術文化を鑑賞しましたか。（それぞれ1つに○をつけてください）

○「メディア芸術」を鑑賞している割合が54.0%と最も高くなっています。

○全体をみると、芸術文化を鑑賞した人の割合は72.2%となっています。



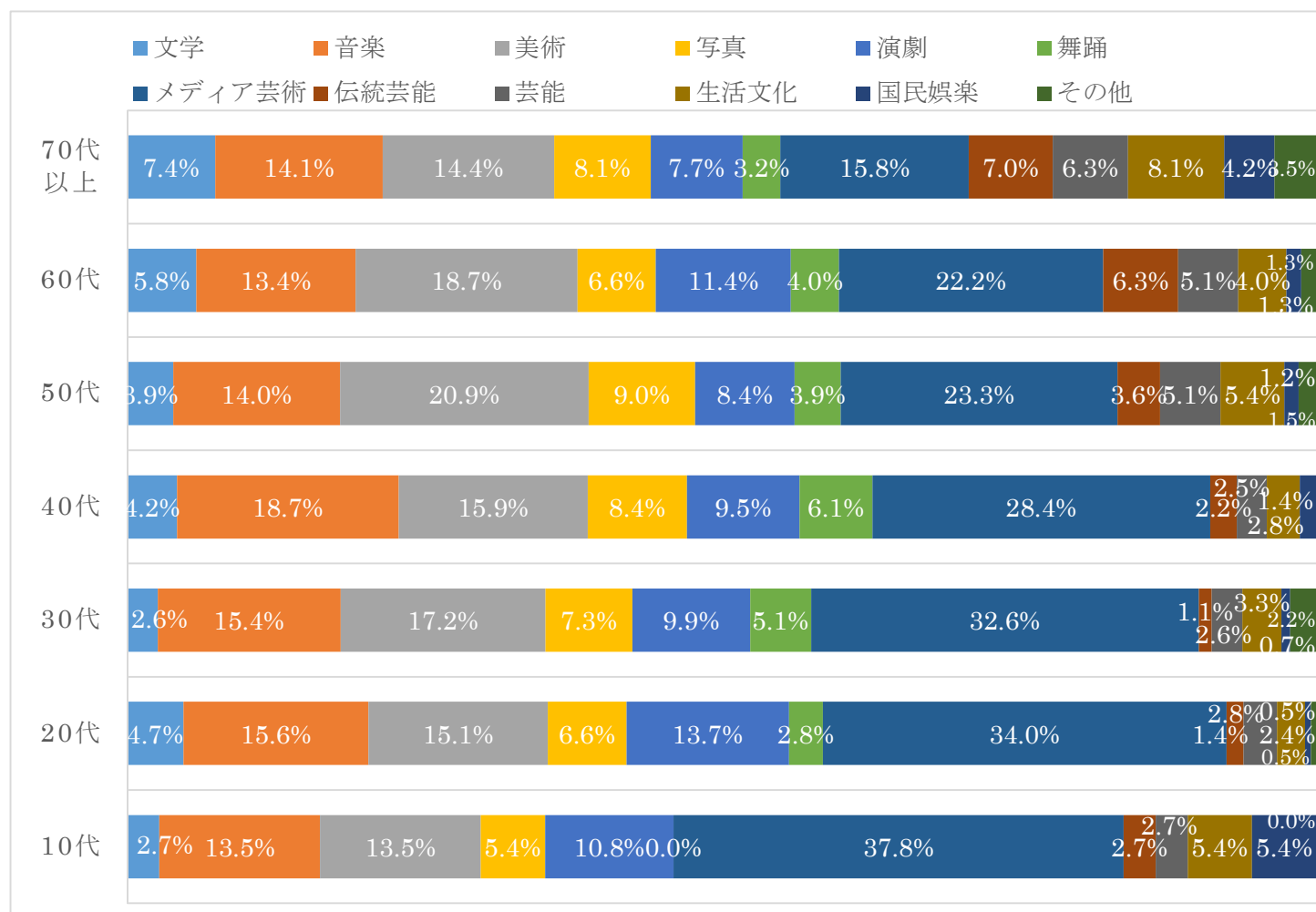
《その他》※主なもの

マージャン、歴史資料館、ライトアップイベントなど 18件

【年代×鑑賞した分野】

分野毎に「年に1～2回程度」「3ヶ月に1～2回程度」「月に1～2回程度」「週に1回以上」と回答した人の年代別の割合

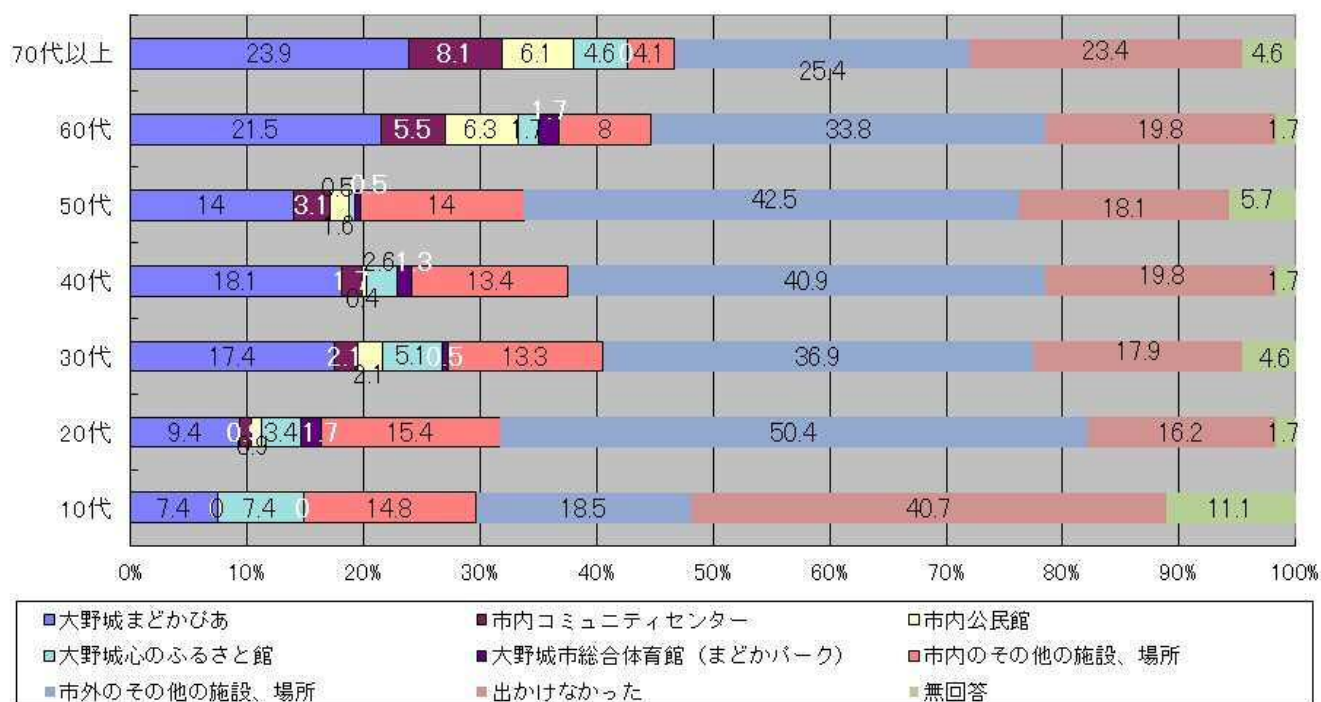
○すべての年代で「メディア芸術」を鑑賞した割合が最も高くなっています。
○次いで割合が高いのは、20代、40代では「音楽」、30代、50代、60代では「美術」と年齢によって興味のある分野は異なることがわかります。



問8 芸術文化を鑑賞するために出かけた場所はどこですか。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

○20代から70代以上において「市外施設」を利用している割合が最も高いです。また、本市の文化施設である「大野城まどかぴあ」は年代が上がるにつれて、利用率が高くなっていることがわかります。

「あなたの年齢を教えてください。」と「芸術文化を鑑賞するために出かけた場所はどこですか。」の関係



《市内施設》※主なもの
イオン大野城、学校

《市外施設》※主なもの

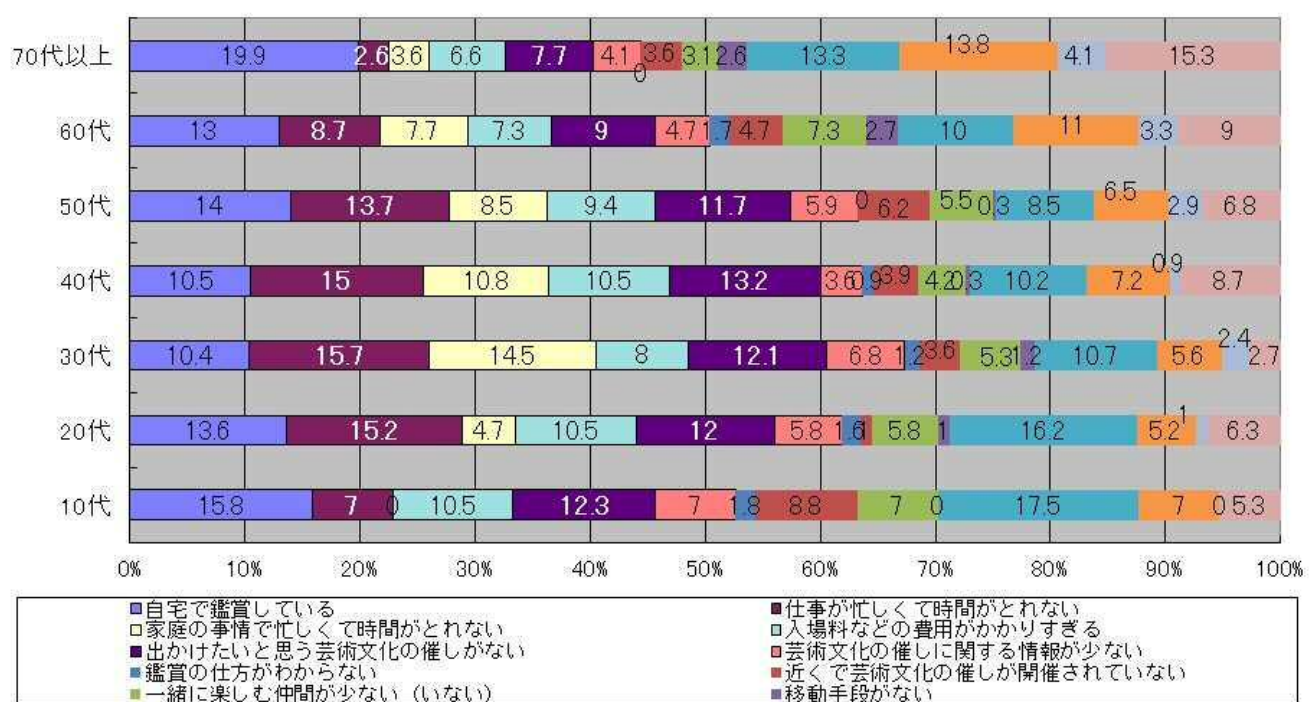
Tジョイ博多、アクロス福岡、イオンモール筑紫野・福岡、キャナルシティ、福岡サンパレス、マリンメッセ福岡、ミリカローデン那珂川、ももちパレス、九州国立博物館、太宰府文化ふれあい館、太宰府天満宮、太宰府いきいき情報センター、プラムカルコア太宰府、筑紫野市文化会館、春日ふれあい文化センター、福岡市博物館、福岡市美術館、福岡アジア美術館、博多座、大濠公園能楽堂 など

問9 外出して芸術文化を鑑賞しなかった理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○をつけてください)

○10代と50代から70代は「自宅で鑑賞している」の割合が最も高くなっています。30代から40代では「仕事が忙しくて時間がとれない」の割合が高くなっており、勤労世代の芸術文化に触れる機会は「仕事」が理由で少なくなっていることがわかります。

○20代は「興味がない」の割合が最も高くなっています。

「あなたの年齢を教えてください。」と「外出して芸術文化を鑑賞しなかった理由を教えてください。」の関係



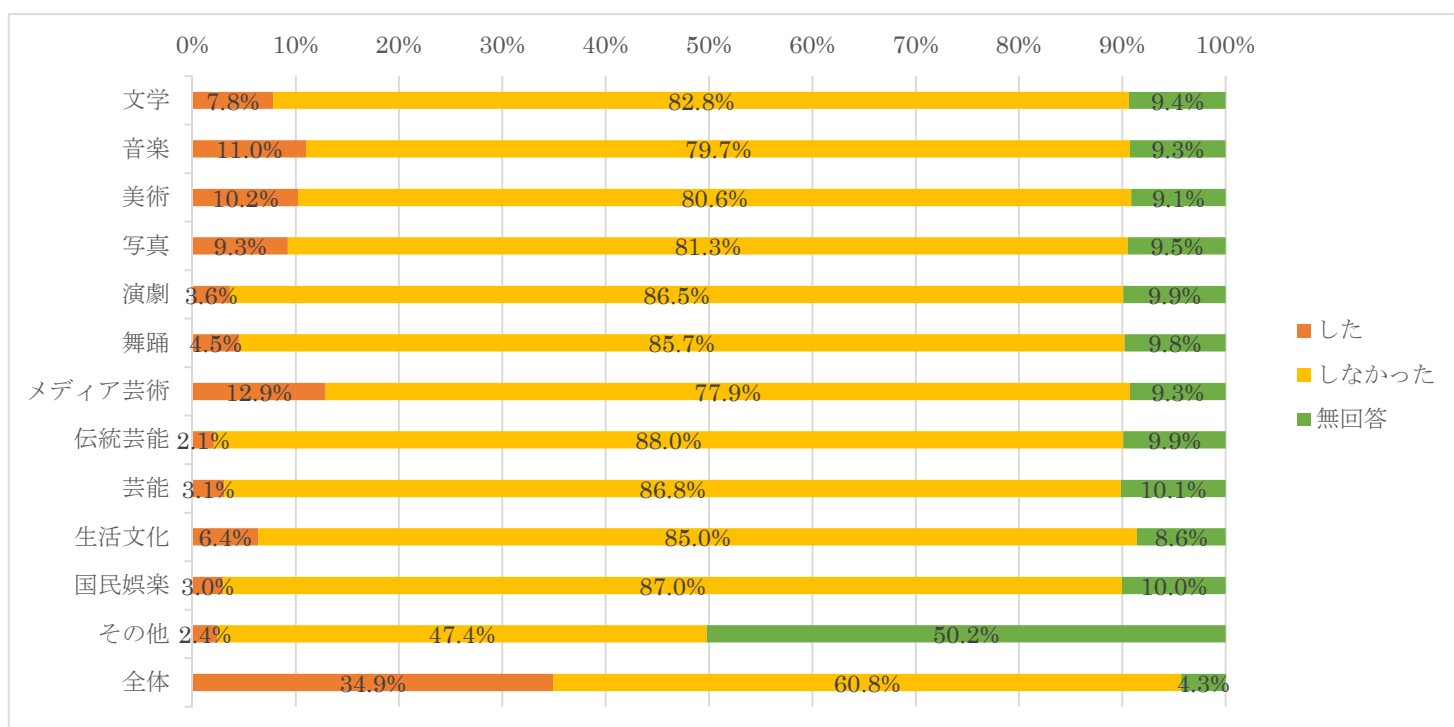
《その他》※主なもの

病気、体調不良によるもの	15 件
・療養中のため ・身体障がい者で人ごみの中はダメ。 ・入院中にため。 ・体調が悪かったから ・体力的に身がもたない。 ・平日の疲労がたまっている。 ・病気の為 ・聴覚障がい者のため一人で歩けない、又見ることができない。 ・足を悪くして。	など
時間的余裕がないことによるもの	8 件
・中学校の部活で親の協力（送迎等）が多く時間がとれない。 ・ボランティアで忙しく、なかなかタイミングが合わない。 ・子供を預ける所がなく、一人の時間が取れない為。 ・芸術文化を鑑賞する余裕が無い。 ・育児・出産により時間がとれない。	など
その他	10 件
・鑑賞するよりスポーツ等体を動かす事に時間を使いたい。 ・数年前までは友達とよく鑑賞に出掛けたが、最近は交通費、入場料を考えると少なくなった。好きな映画は一人で頻繁に行っている。 ・有名な人の絵画、美術品を開催するホール等がない ・交通便利が悪い	など

問 10 この1年間に、鑑賞以外に、どのくらいの頻度で、芸術文化活動（講座の受講や、習い事を含む）を行いましたか。（それぞれ1つに○をつけてください）

○「メディア芸術」の割合が最も高くなっています。次いで「音楽」、「美術」の割合が高くなっています。

○先述の「鑑賞」と比較すると「活動を行っている」人は全体で34.9%と圧倒的に少ないことがわかります。



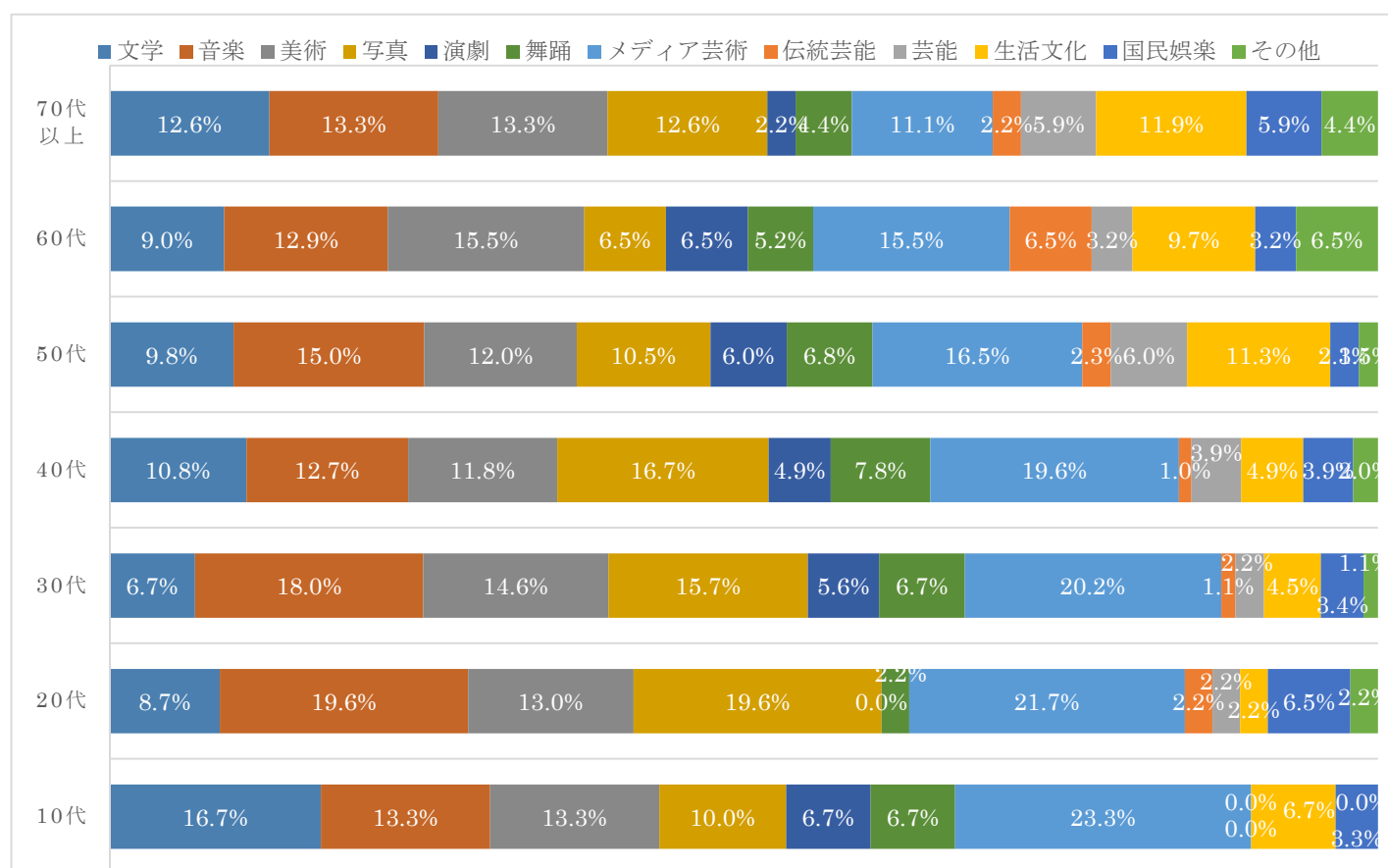
《その他》※主なもの

ひょっとこ踊り、シニア大学（山城塾）ハワイアンキルト など 19件

【年代×活動した分野】

分野毎に「年に1～2回程度」「3ヶ月に1～2回程度」「月に1～2回程度」「週に1回以上」と回答した人の年代別の割合

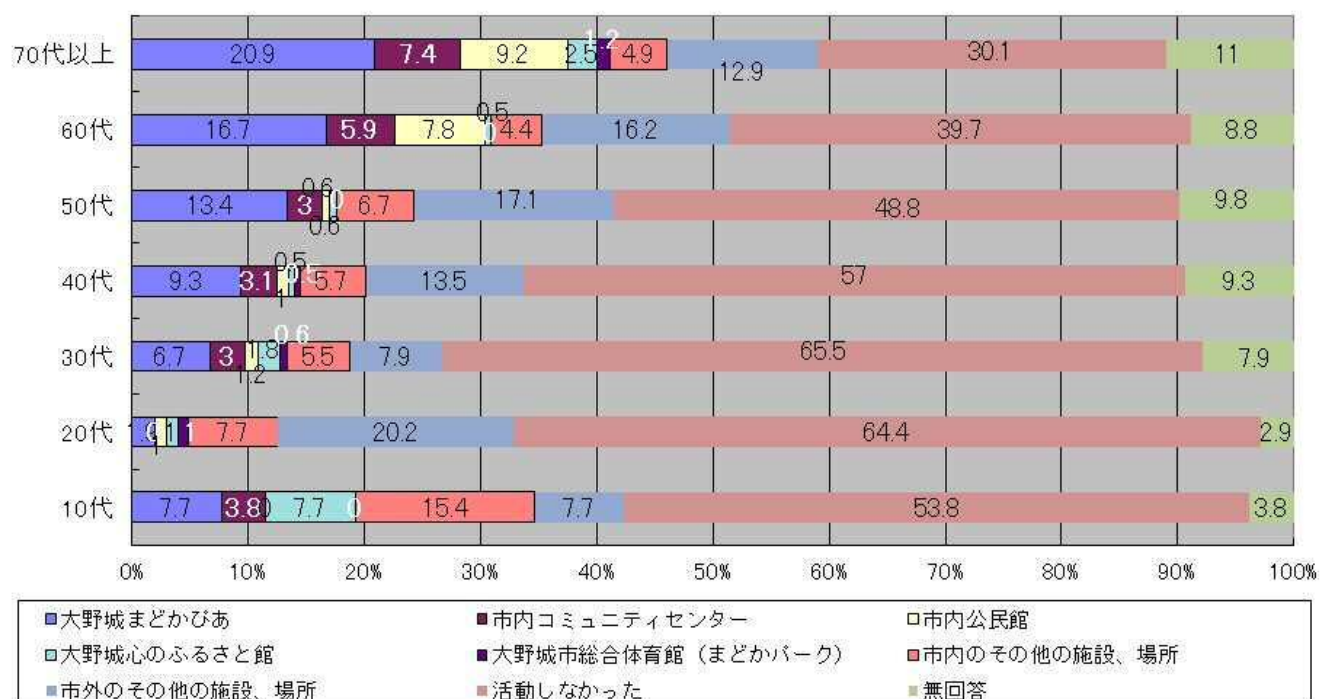
○10代～50代については、「メディア芸術」の文化活動を行っている割合が最も高いですが、60代以上は「美術」の文化活動を行っている割合が最も高くなっています。



問11 芸術文化活動を行うために利用した場所はどこですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

○「活動しなかった」を除いて、50代までは、「市外施設」の割合が最も高くなっています。60代～70代以上になると「大野城まどかぴあ」の割合が最も高くなっています。また、「大野城まどかぴあ」に限らず、「市内コミュニティセンター」や「市内公民館」についても、年代があがるにつれて、利用率が高くなっていることがわかります。

「あなたの年齢を教えてください。」と「芸術文化活動を行うために利用した場所はどこですか。」の関係



《市内施設》※主なもの

コナミ大野城、先生の自宅、学校 など

《市外施設》※主なもの

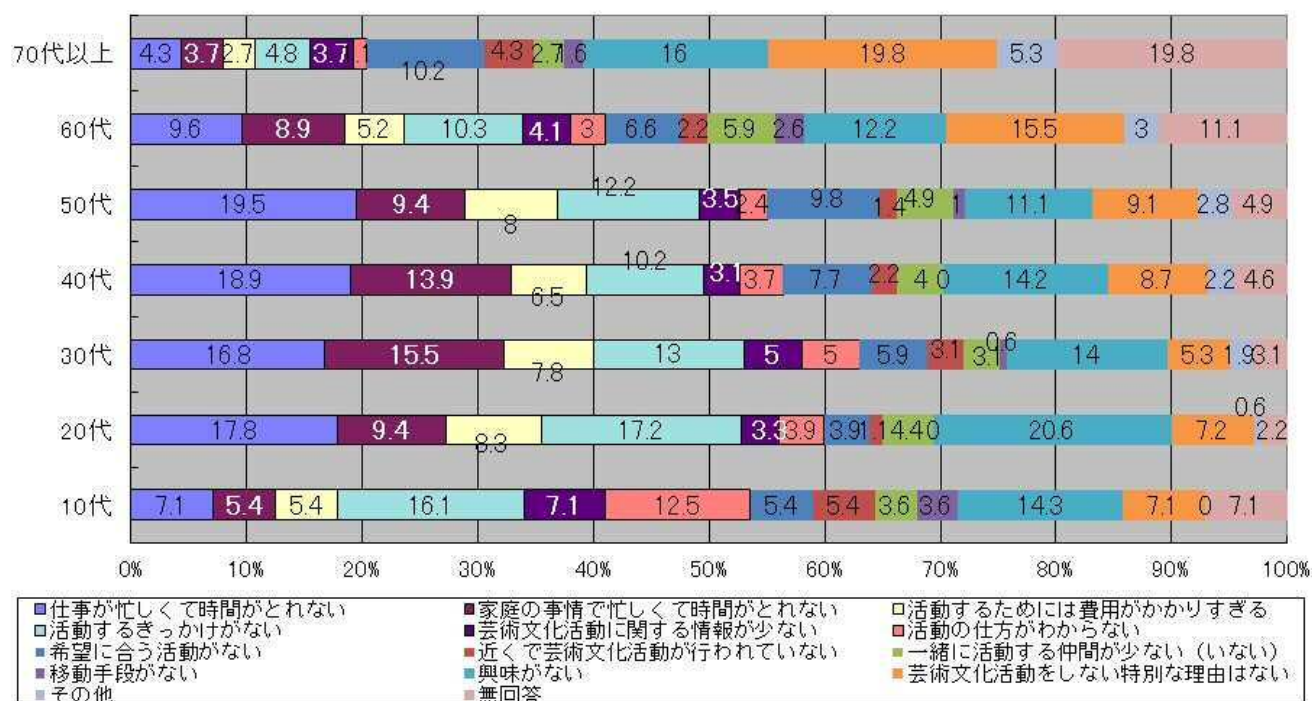
太宰府天満宮、山などの自然の中、エンジョイスペース大名、筑紫野市パープルプラザ、ノルウェー、市外にある教室、小郡あすてらす、老人ホーム、工房、ミリカローデン那河川 など

問 12 芸術文化活動をしなかった理由を教えてください。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

○30代から50代の勤労世代は「仕事が忙しくて時間がとれない」の割合が最も高くなっています。

○20代は「興味がない」、10代は「活動するきっかけがない」、60代以上は「特別な理由はない」の割合が最も高くなっており、あまり関心がないことが伺えます。

「あなたの年齢を教えてください。」と「芸術文化活動をしなかった理由を教えてください。」の関係

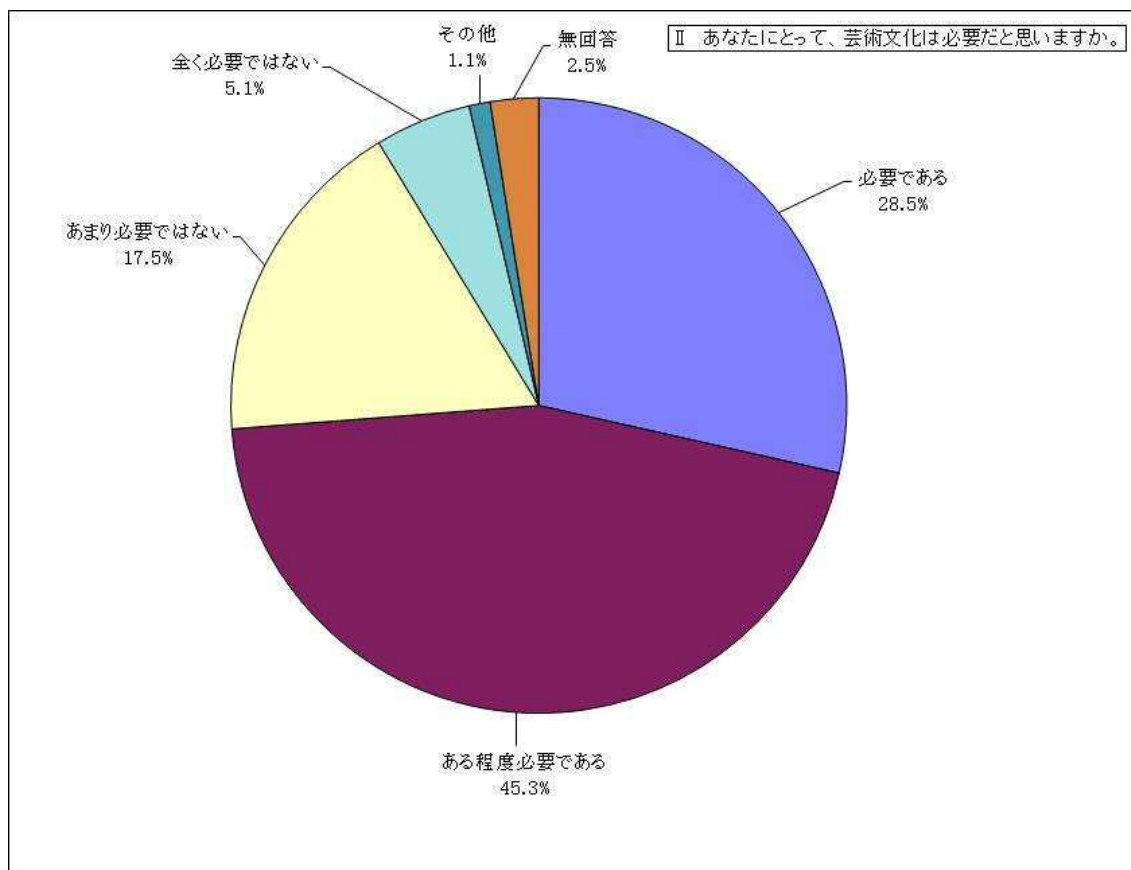


《その他》※主なもの

病気、体調不良によるもの	14 件
・体力的にムリ ・療養中のため ・足をケガして出歩けなかった。 ・身体障がい者で人ごみの中はダメです。 ・体調がよくなくて。 ・夏の間は皮膚の調子がよくありません ・疲れてる。	など
時間的余裕がないことによるもの	4 件
・他の趣味で時間がとれない。 ・丁度良い時間帯での活動がない。 ・芸術文化活動をする余裕が無かった。 ・会社勤務をしており、土日は休みたい。	など
その他	11 件
・見に行く方が良い。 ・休日はスポーツ活動に時間を費やした。 ・経済面、金銭面が気になる。 ・母子家庭で子供に障がいがある為、余裕がない。 ・面倒くさい。 ・小さい頃から色々な習い事をしてきて、指導者や仲間の関係がめんどうになる。市内中心地に行くバスがない。時間と交通費がかかる。 ・まどかぴあの講座パンフレットをよく見るが、入る勇気が出ません。 ・画廊などの作品発表する場がない	など

問 13 あなたにとって芸術文化活動は必要だと思いますか。(1つに○をつけてください)

○「必要である」「ある程度必要である」と答えた人が7割強なのに対し、「あまり必要ではない」「必要ではない」と答えた人が2割を占めています。

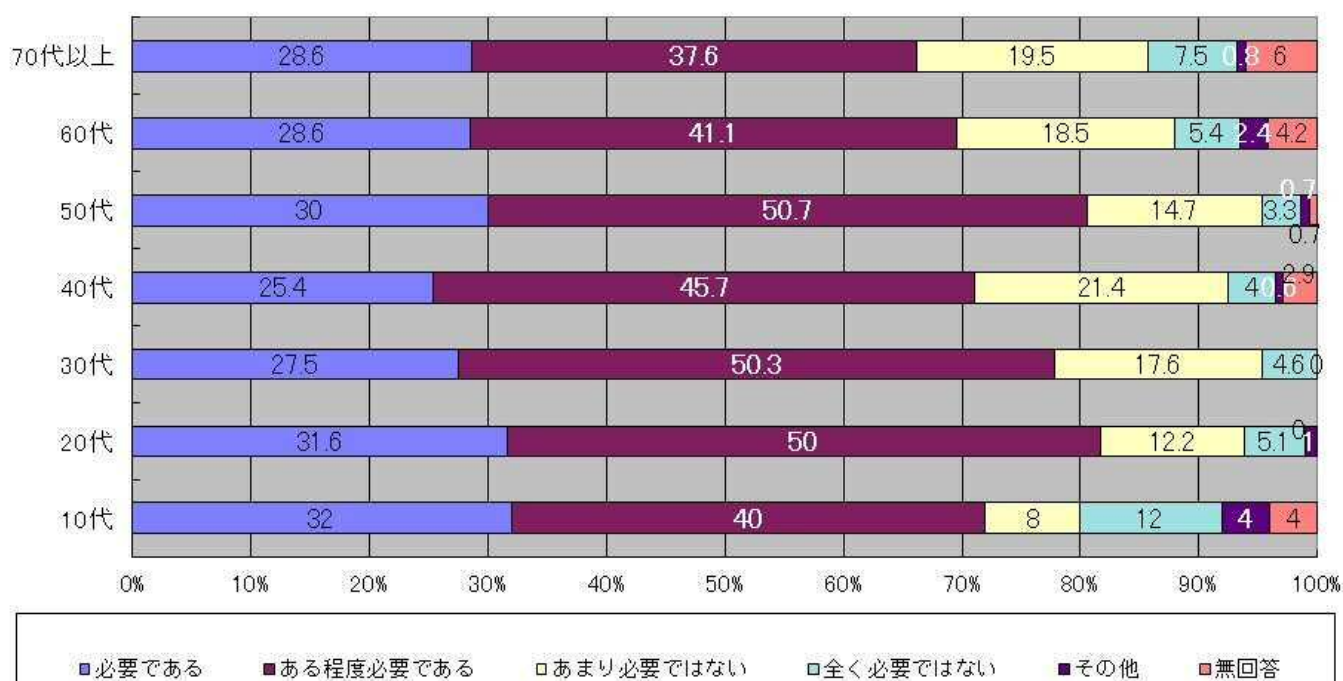


【年代別】

○すべての年代で、「必要である」「どちらかと言えば必要である」と必要性を感じている人が7割近くを占めており、大野城市民にとって芸術文化は必要とされていることがわかります。

○必要性を感じているにもかかわらず、芸術文化を鑑賞している人、活動を行っている人の割合は、最も多い「メディア芸術」の鑑賞でも、5割程度に留まっており、必要性を感じているが行動ができていない人がいることがわかります。

「あなたの年齢を教えてください。」と「あなたにとって、芸術文化は必要だと思いますか。」の関係



《その他》※主なもの

どちらでもない、わからない など 5件

問 13-1 問 13 で回答した内容について、理由を教えてください。(自由記述)

○「必要である」、「ある程度必要である」と答えた人の意見は、「生活や心、人生を豊かにするため」に必要であると答えた人が多く、生活していくために必要なものであると実感している人が多いことがわかります。

○「人と人とのつながりが生まれるため」と答えている人も多く、芸術文化が人をつなぐツールであることを認識させている人が多いことがわかります。

○「必要ではない」、「あまり必要ではない」と答えた人の意見は、「興味がな
い」が最も多く、芸術文化は「時間的、金銭的にも余裕がある人が行うもの」
と認識されていることがわかります。また、「スポーツをしているから」とい
う意見もあります。

◀「必要である」、「ある程度必要である」と答えた人の意見※主なもの

生活や心、人生を豊かにするため	214 件
・人生を豊かにするため ・生活に充実感を得る為。 ・市民が本物の作品に触れることで芸術的感性が高まるため。 ・教養を身に付けるために必要であるため ・人生の糧となっているため ・心を豊かにするため。心が豊かだと人を思いやる心の余裕が生まれる。 ・人の心や想像力を豊かにしてくれるものだと思うから。 など	
気分転換となるため	37 件
・ストレス解消になるため ・毎日の生活に刺激となるため、非日常を感じることができるため ・日常に変化をつけて、新しい気持ちになれる。 ・普段の生活から離れて、息抜きや活力の充足等に繋がる。平坦な日常とは違う感動や驚嘆を味わうことができる。 など	
自分自身のスキルアップに繋がるため	20 件
・年齢がいても新しい時代について行きたい ・自己啓発をしたい。 ・自分の知らなかった事を見たり聞いたりすれば、自分の経験の幅が広がると思うから。 ・物の見方。考え方等、自分の年齢感を衰えさせたくない。 ・知識を深めるため など	
人と人とのつながり、コミュニケーション形成のため	32 件
・様々な所属を持つことで仕事や子育て以外の自分自身と他の人とのつながりを持つことができる。 ・芸術文化とは「人へ表現する」ことだと思います。自分が感じている「人へ伝えたいこと」の表現方法を持っていることで自分自身も周りの人も幸せにすることが出来ます。人と人との心をつなぐ大切なものだと思います。 ・人と会うのが楽しい。元気をもらいます。健康につながる ・地域との交流ができる など	

文化を継承していく必要があるため	13 件
・後世に伝えていく必要性があると感じるから。 ・伝統文化を今の人々に伝え、日本の昔から存在する伝統文化がどのようなものかを知る必要があると思うから。 ・日本古来の芸術文化をたやさない為。 など	
その他	5 件
・娯楽として必要だから ・少しは興味があるから	

≪「必要ではない」、「あまり必要ではない」と答えた人の意見≫※主なもの

興味がないため	53 件
・興味がない ・関心がない ・あまり関心が無いため ・無くても生きていくことが出来るため など	
時間的な余裕がないため	25 件
・今は子育てで時間がとれず、特に必要性も感じません。 ・病気療養中のため、芸術文化には興味をもてない。 ・日常の生活で手一杯だから。 ・時間や気持ちにゆとりがあつてこそできるものだと思っている ・芸術は好きだが、仕事が忙しいのと生きていくので精一杯。 など	
金銭的な余裕がないため	6 件
・経済的余裕がある人のみができるものと考えている ・ミュージカルなど好きだけど、高額だと思う。その額を支払ってまで楽しむのは、今の自分には贅沢だから、安価な美術館等はどう楽しんでよいのかわからない など	
体力的に難しいため	4 件
・病気の治療のため。 ・暑い間は余り外出したくありません。 など	
その他	15 件
・芸術文化活動を特に行っていないが、生活に支障がないから。 ・あまり出かけたくない ・スポーツの方に興味があるから。 ・もっと情報がほしい ・始めてみたいとは思いうけど、初心者から始められるものが少ない。 など	

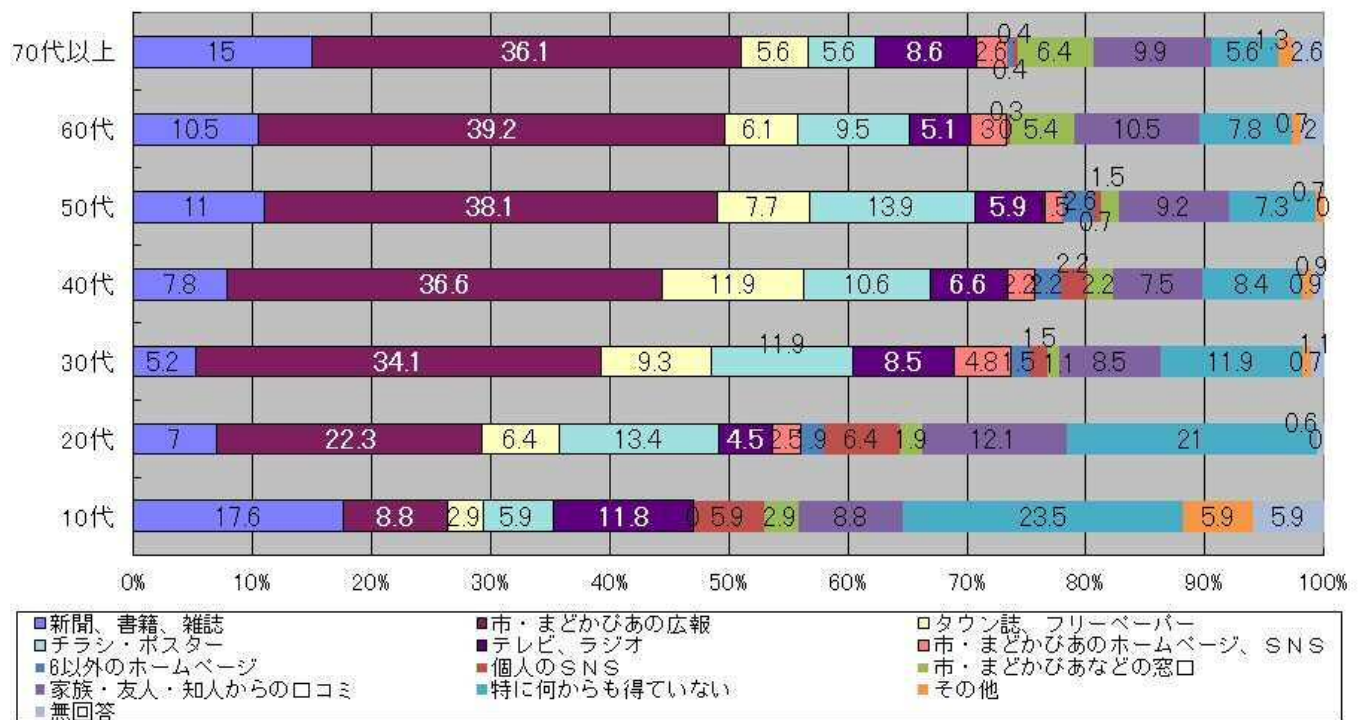
Ⅲ 情報入手手段と事業の認知度について

問 14 あなたは大野城市の芸術文化に関する情報を、主に何から得ていますか。
(あてはまるものすべてに○をつけてください)

○20代から70代までにおいて、「市・まどかぴあの広報」の割合が最も高くなっており、広報誌がいかに重要となっているかがわかります。

○10代については、「特に何も得ていない」が最も多く、周知の方法について検討する必要があります。

「あなたの年齢を教えてください。」と「あなたは、大野城市の芸術文化に関する情報を、主に何から得ていますか。」の関係



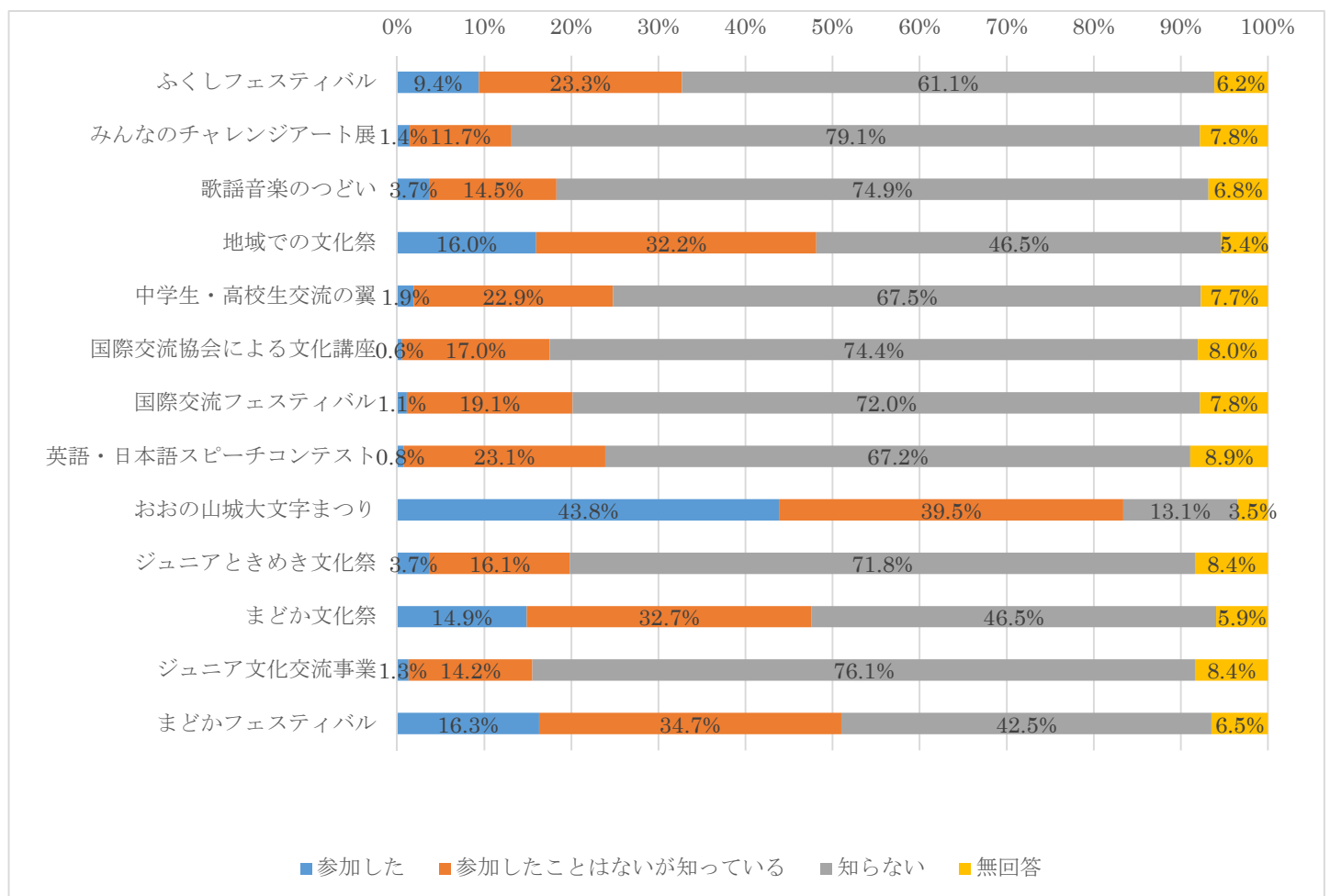
《その他》※主なもの

- ・回覧板、気が付いたら知っていた など 7件

問 15 次の事業について、あてはまるものを選んでください。（それぞれ1つに○をつけてください）

○「参加したことがある」と答えた人が最も多かった事業は「おおの山城大文字まつり」となっており、「参加したことはないが知っている」と合わせると、8割を超えています。

○「参加したことはないが知っている」の割合に比較すると「参加したことがある」が少ない事業も多くあるため、魅力ある事業としていく必要があります。

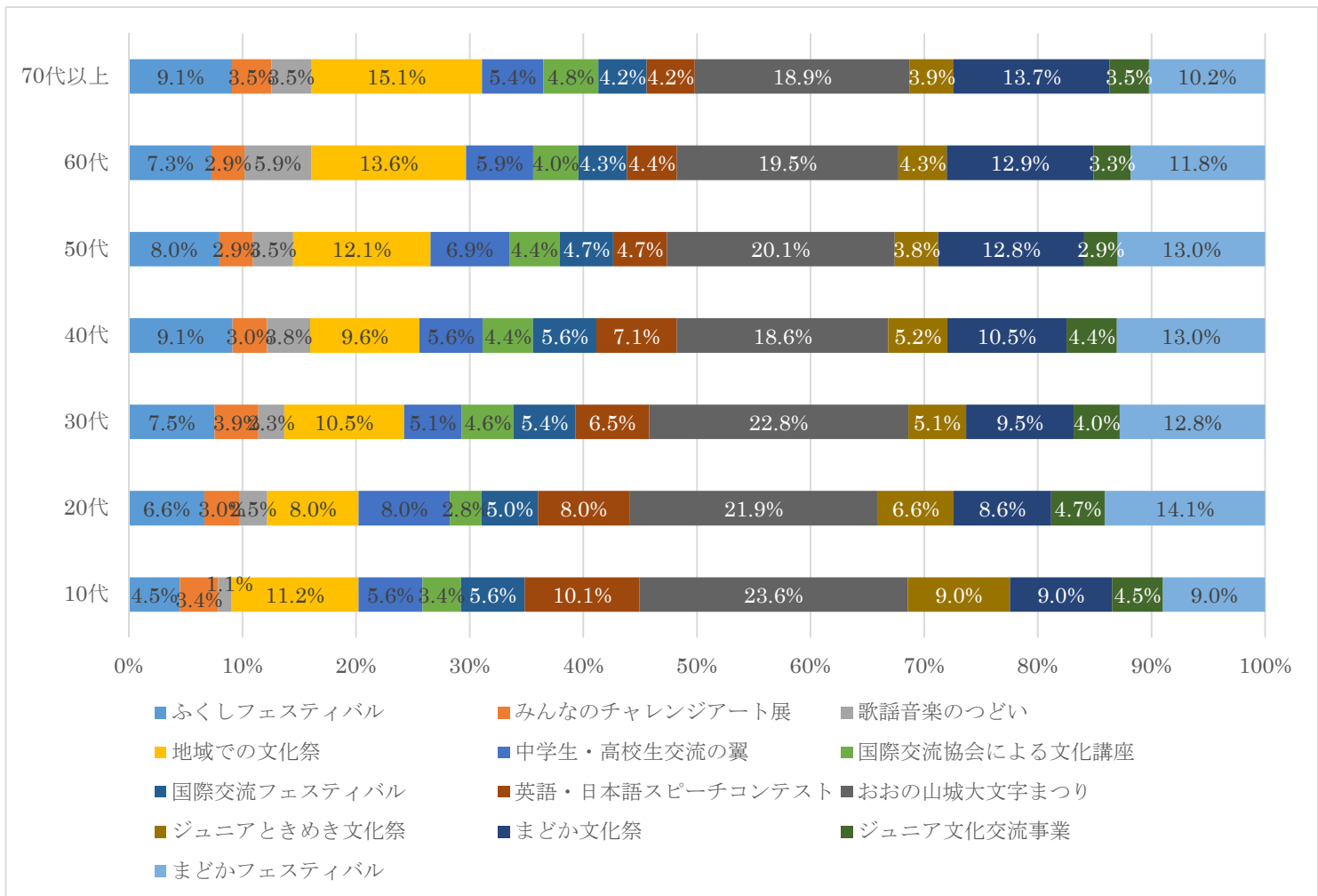


【年代×市の事業の認知度】

「参加したことがある」、「参加したことはないが知っている」と回答した人の年代別の割合

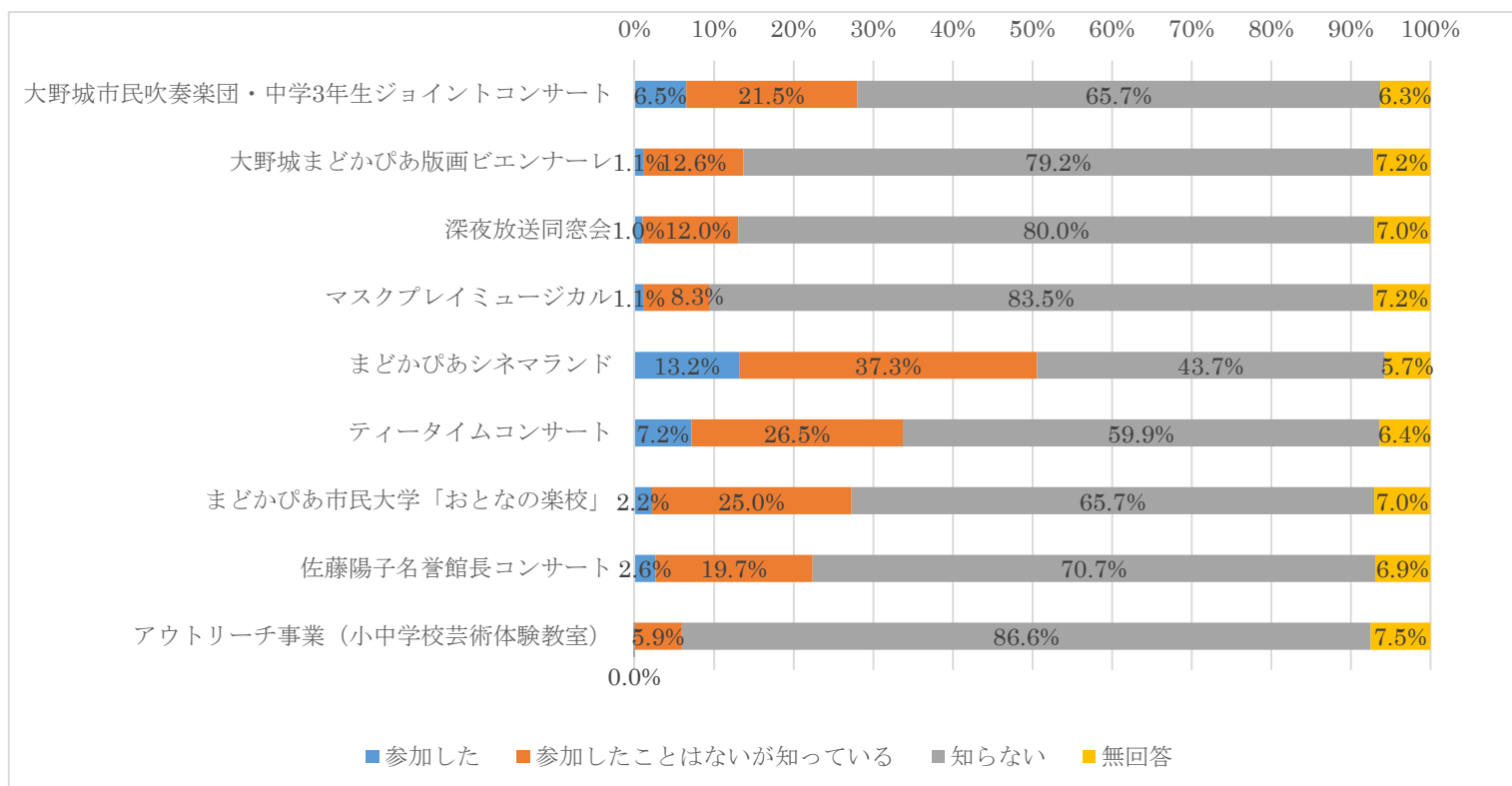
○50代以上では、「地域での文化祭」「まどか文化祭」の認知度が高く、長年続いている地域に根付いた事業が認知度が高いことがわかります。

○また、「英語・日本語スピーチコンテスト」や「ジュニアときめき文化祭」など、子ども向けの事業については、10代の認知度が他の年代と比較して割合が高くなっています。



問 16 次の大野城まどかぴあ実施事業について、あてはまるものを選んでください。（それぞれ1つに○をつけてください）

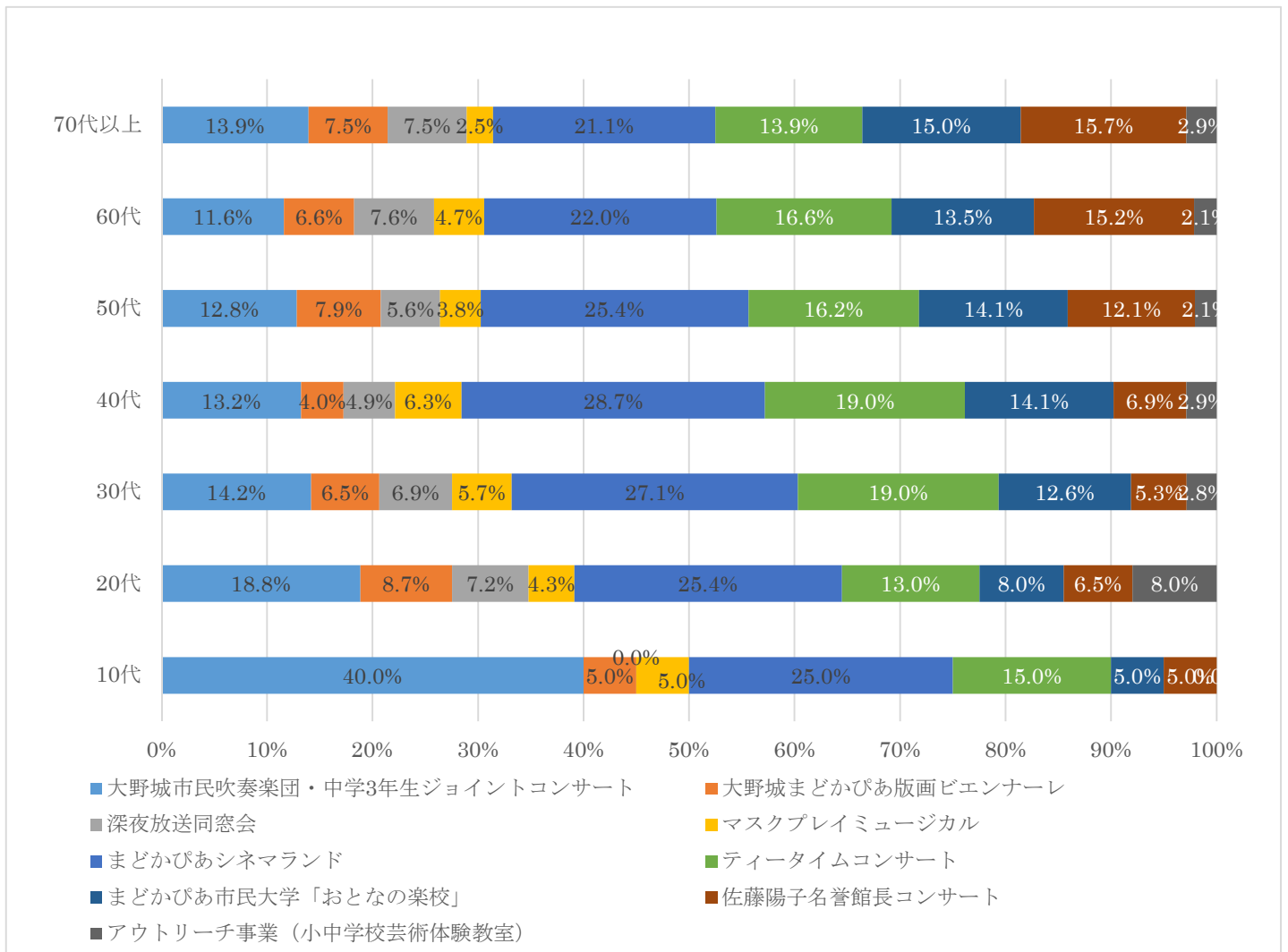
○「参加したことがある」「参加したことはないが知っている」を合わせると、「まどかぴあシネマランド」の認知度が5割を超えており、最も高くなっています。



【年代×まどかぴあの事業の認知度】

「参加したことがある」、「参加したことはないが知っている」と回答した人の年代別の割合

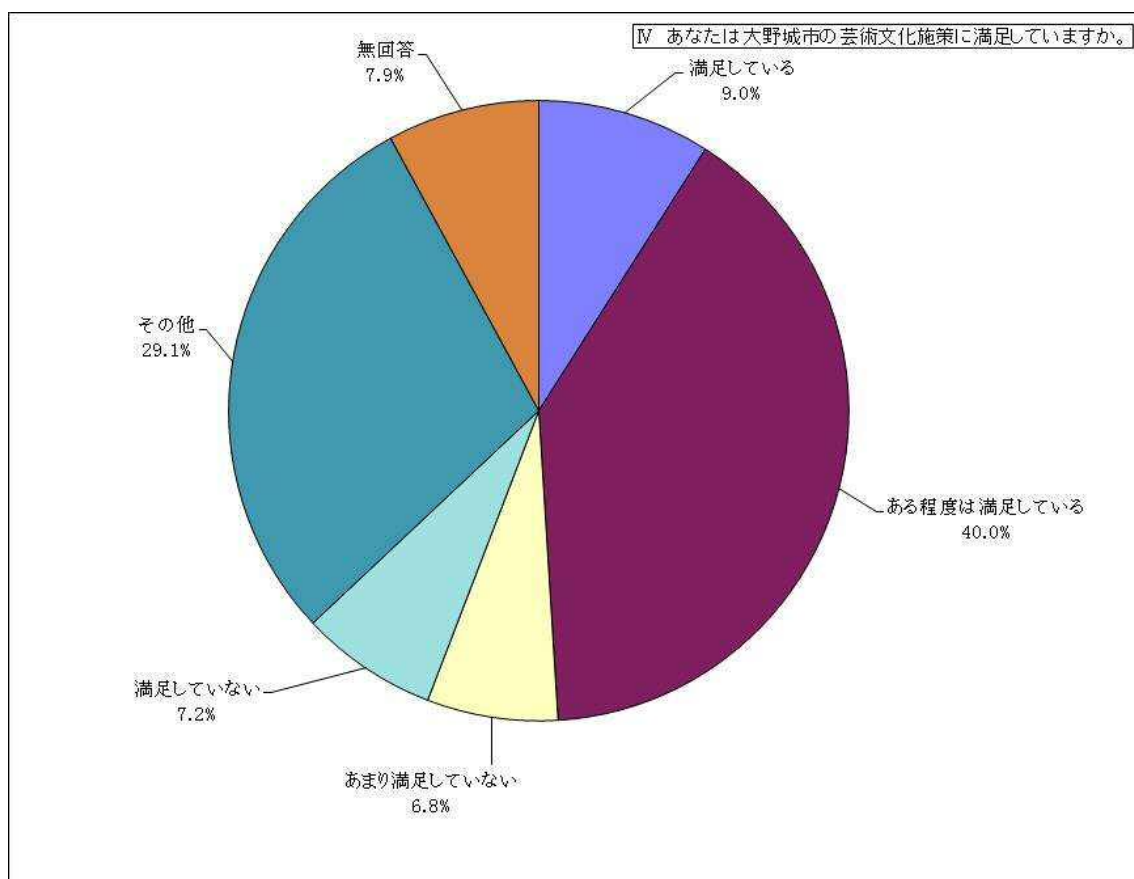
○10代では、「大野城市民吹奏楽団中学3年生ジョイントコンサート」の割合が他の年代の比較して、突出して高くなっており、若年層に認知度が高いことがわかります。



Ⅳ 大野城市の芸術文化の将来について

問 17 あなたは大野城市の芸術文化施策に満足していますか。(1つに○をつけてください)

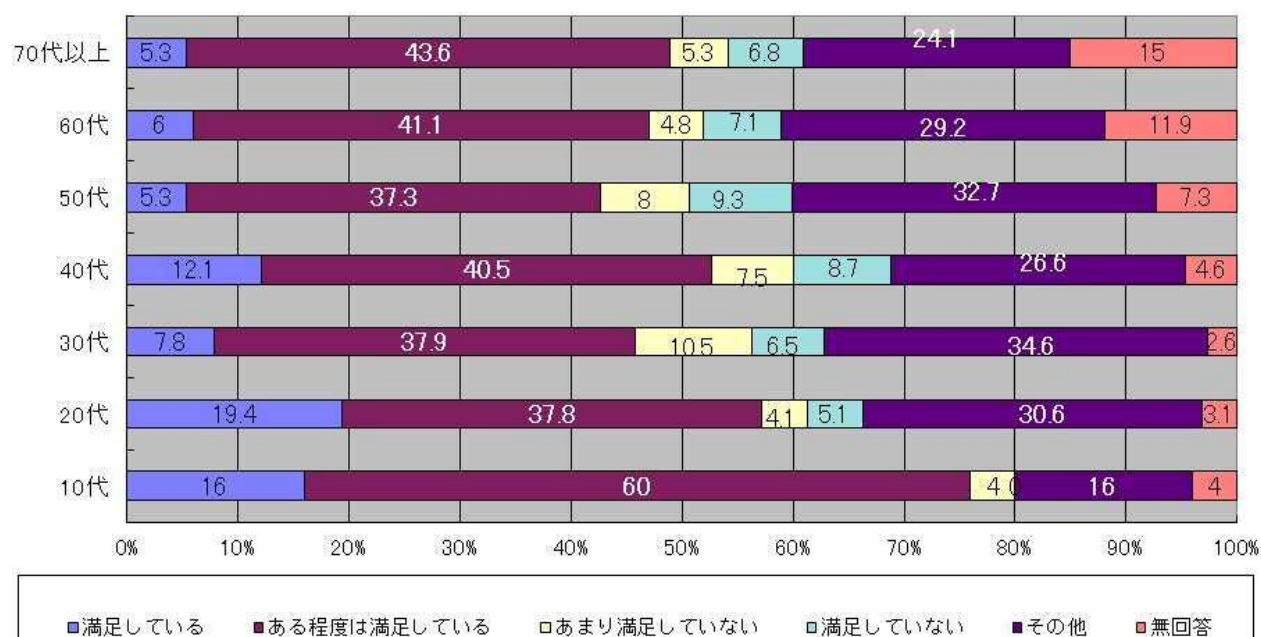
- 「満足している」「ある程度は満足している」が5割近くを占めています。
「あまり満足していない」「満足していない」が2割弱であるのに対し、「その他」が3割を占めており、「その他」の理由をみると、「施策がわからないため評価できない」といった意見が目立ちます。
- 「あまり満足していない」「満足していない」では、「興味がない」という意見が多く、関心を持ってもらうことが課題となっています。



【年代別】

- 20代から70代以上では「満足している」「ある程度満足している」の割合が4割から5割を占めており、「あまり満足していない」「満足していない」の割合が2割から3割程度であるが、その他の意見では、「施策がわからないから評価できない」や「参加したことがないため評価できない」という意見が目立っています。

「あなたの年齢を教えてください。」と「あなたは大野城市の芸術文化施策に満足していますか。」の関係



《「あまり満足していない」、「満足していない」理由》※主なもの

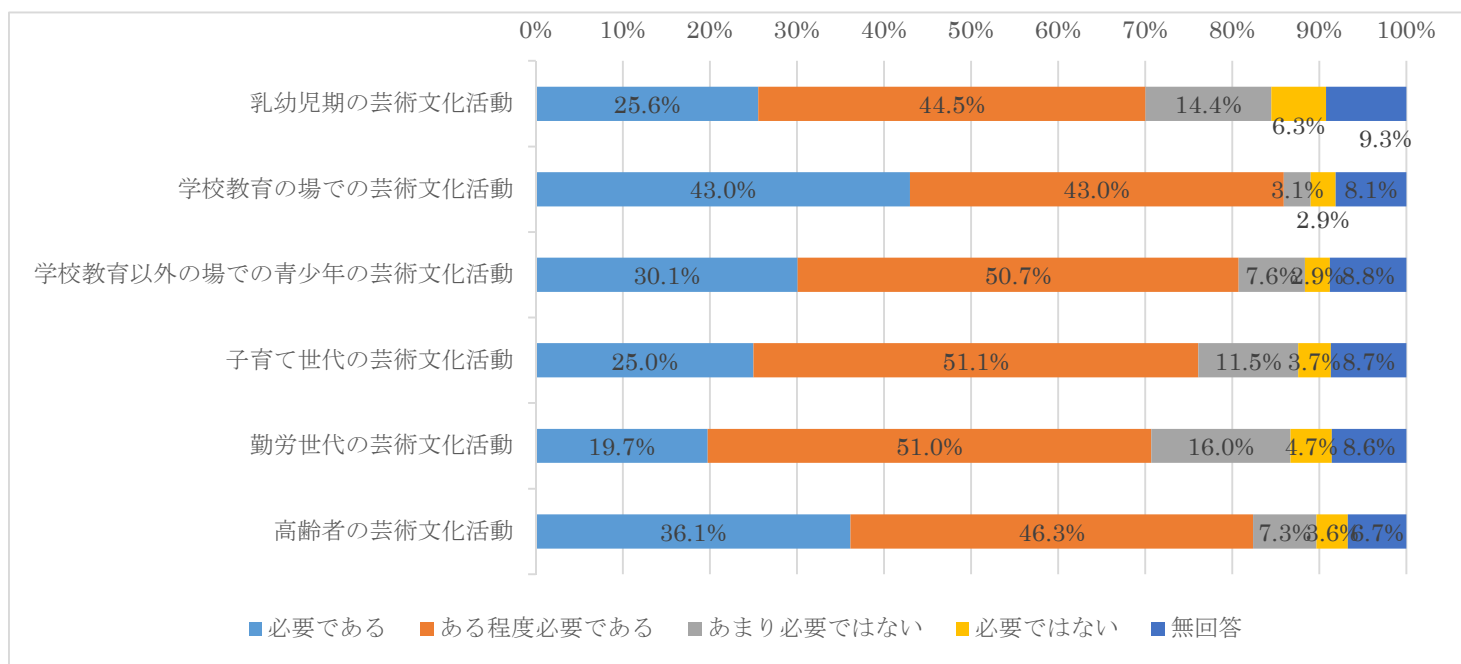
- ・興味がないため
 - ・太宰府や福岡市が魅力的であるため
 - ・参加していないため
 - ・レベルが低すぎる
 - ・親子で楽しめるイベントが少ない。
 - ・大野城市には、道の駅のような、わかりやすい発信場所がない。
 - ・市というよりは個人で活動しているので満足するという気持ちがない。
 - ・知らない事が多い
- など 133件

《その他》※主なもの

- ・芸術文化施策について殆んど知識がなく判断が出来ません。
 - ・わからない
 - ・広報等はわりと読んでいるが、ピンとくるもの、知っているものが少ない
 - ・参加した催しがほとんどないので、意見ありません。
 - ・自ら積極的に関わっていないので、評価できない。
 - ・積極的にまどかぴあ等に出かけ、情報をよく知らないと返答がむずかしい。
- など 149 件

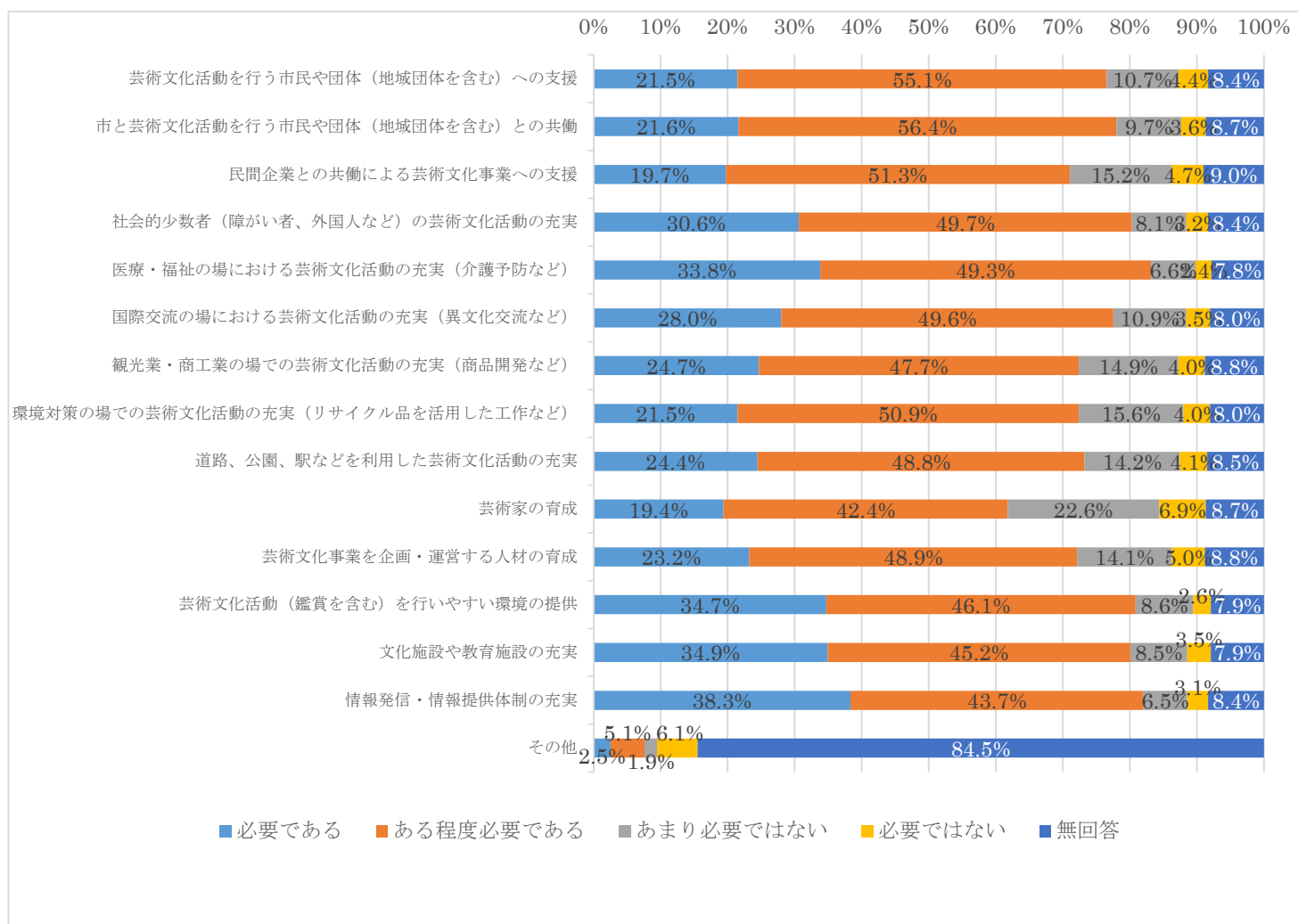
問 18 世代ごとに、芸術文化活動の充実がどの程度必要だと思いますか。
(それぞれ1つに○をつけてください)

○「必要である」「ある程度必要である」を合わせると、「学校教育の場での芸術文化活動」が85.7%、次いで「高齢者の芸術文化活動」が81.8%、「学校教育の場以外での青少年の芸術文化活動」が80.2%と続いており、子どもや高齢者に対して芸術文化活動が必要であると思われることがわかります。



問 19 以下の具体的施策について、どの程度必要かと思われますか。（それぞれ1つに○をつけてください）

○「必要である」「ある程度必要である」を合わせて、最も必要だと思われる施策は、「医療・福祉の場における芸術文化活動の充実」82.5%であり、次いで、「情報発信・情報提供体制の充実」81.5%、「芸術文化活動（鑑賞を含む）を行いやすい環境の提供」79.9%、「社会的少数者（障がい者、外国人など）の芸術文化活動の充実」79.1%、「市と芸術文化活動を行う市民や団体（地域団体含む）との共働」76.4%と続いています。

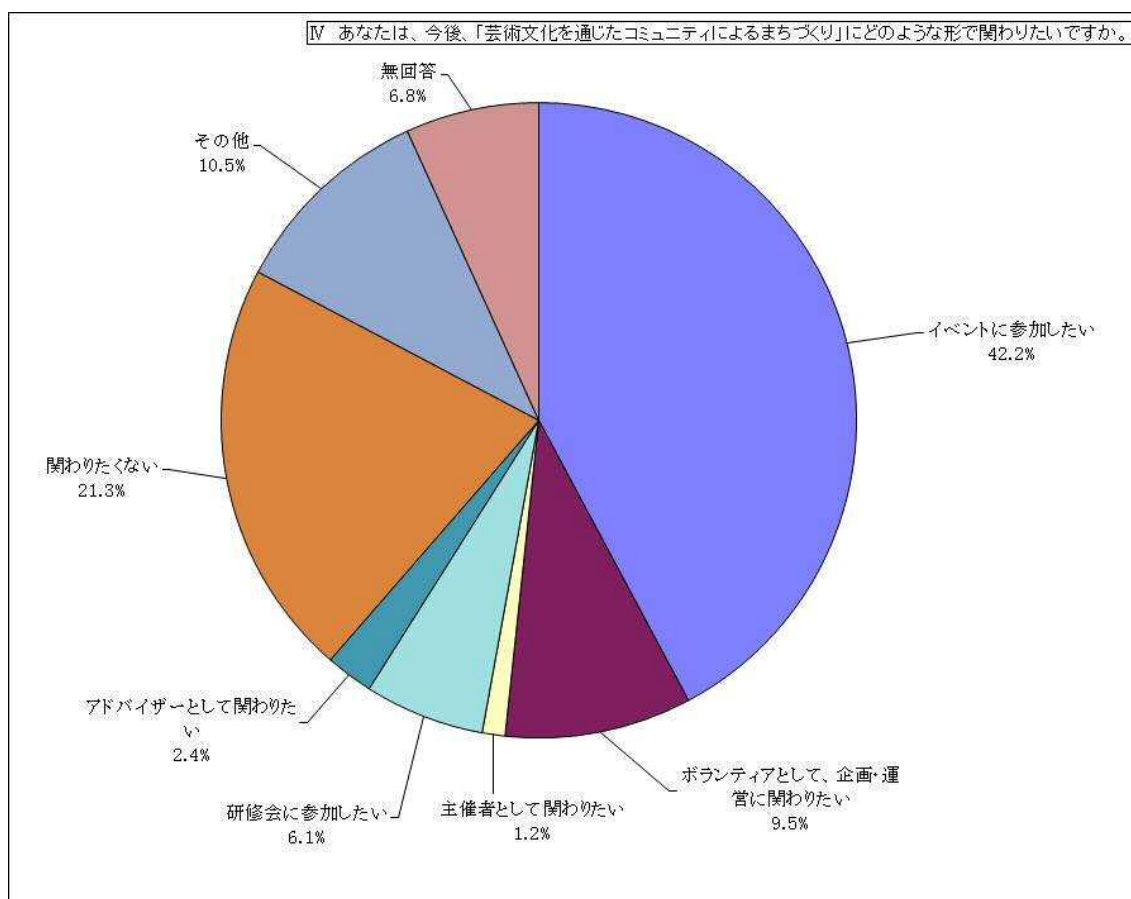


《その他》※主なもの 12件

- ・ 個展等ができる施設
- ・ 市内に芸術文化の団体に属していない人材の発掘
- ・ 芸術イベントの無償化（支援）
- ・ まどかピア以外の専用ホールなど
- ・ ボランティア活動の情報をもっと公開。
- ・ 活動拠点に乳幼児を預けれる託児設備の充実。
- ・ 四王寺山（大野城市体育館）あたりでの情報発信、文化施設の取組み。
など

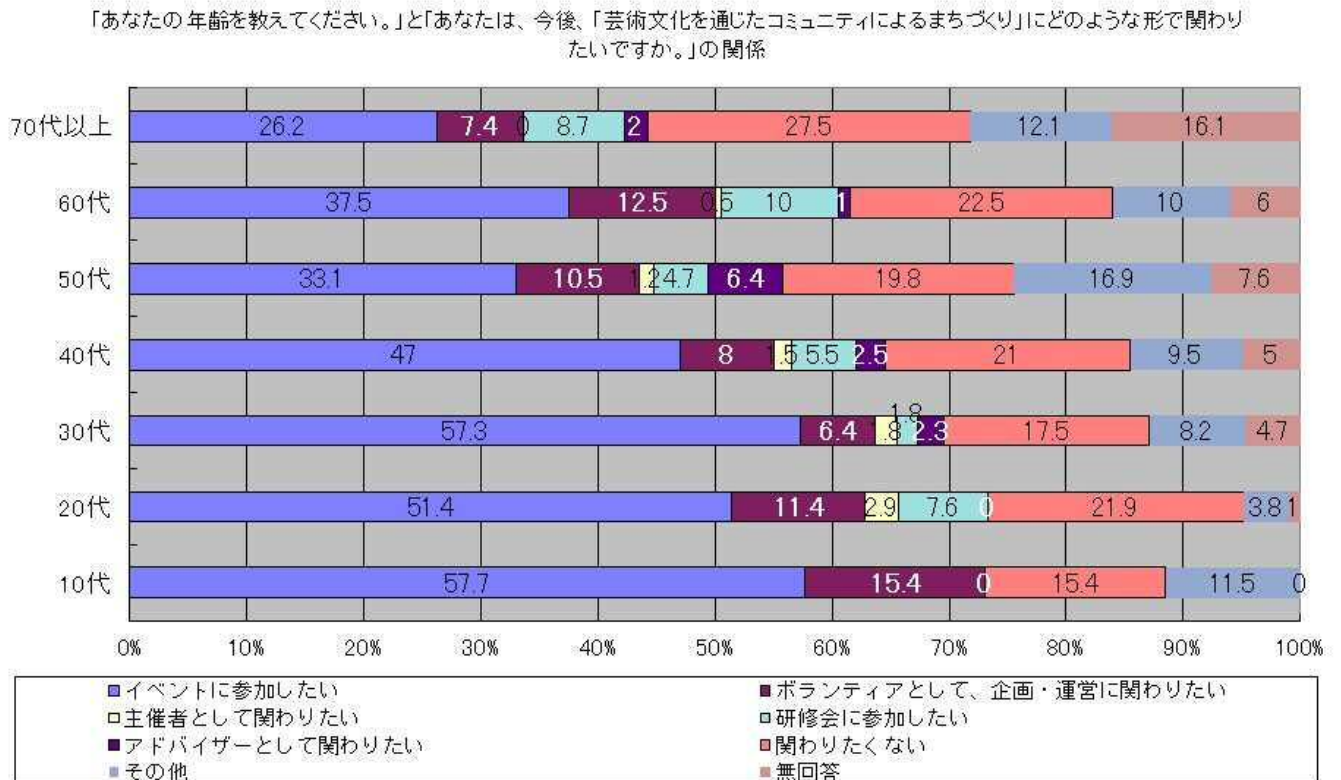
問 20 あなたは、今後、「芸術文化を通じたコミュニティによるまちづくり」にどのような形で参加したいですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

○何らかの形で「参加したい」と考えていることが6割を占めています。



【年代別】

- 10代から60代までは、「イベントに参加したい」の割合が最も高くなっており、30代については、半数を占めています。70代については高齢である等の理由により、「関わりたくない」の割合が最も高くなっています。
- 「その他」については、「興味が湧くものであれば」や「時間的に余裕ができたなら」など、参加できる状況が整えば、参加したいという意見でした。



《関わりたくない理由》※主なもの

- ・興味がない
 - ・今は介護と仕事と生活のこと以外は何も考えられません。
 - ・結局主催側の自己満足に終わることが大半なため。児童のためのコミュニティだとすればすばらしいと思う
 - ・時間、体力、気力がないため
 - ・体の調子が余り良くない為。
- など 208 件

《その他》※主なもの

- ・興味が湧くものであれば参加したい。
 - ・子供と一緒に関われる事に参加したい。
 - ・時間に余裕ができたなら参加したい。
- など 28 件

問 21 大野城市の「芸術文化を通じたコミュニティによるまちづくり」について、あなたのアイデア、提案等をお聞かせください。（自由記述）

※主なもの

施設整備など	15 件
・美術館の設置 ・個展を開催できる場所の設置 ・公園、駅などへの作品展示（引きがなど）ができる場所の設置 ・住民アート ・散歩道の整備を行い、そこに市民の作品を展示する ・総合体育館付近に道の駅を整備し、そこで市民の作品を展示する ・公園で市民の作品が展示できるスペースを整備する	
参加型（体験型）イベントの充実	47 件
・屋外での参加型イベントの実施 ・深夜放送同窓会の充実 ・伝統文化の体験型イベントを行い、人が繋がる場をつくる ・子どもが参加できる企画の実施 ・季節ごとの、季節に見合ったイベントの実施 ・老若男女誰もが参加でき楽しめるイベントの実施 ・大野城フェスティバル（コンテスト実施）・若年ダンス・伝統芸能全てのジャンルにて対応。大文字祭りの発表の場をコンテスト形式にする ・各地域に密着した活動の実施 ・駅前でのイベントの実施 ・SNSを使ってコンテスト形式のイベントを実施する ・親子で楽しめる文化イベントの実施 ・時代に即した文化イベントの実施 ・気軽に楽しく参加できる催し物を幼児からお年寄りまで学校や職場、公民館等で実施する	
広域的（市外や海外との連携）な文化活動の実施	10 件
・イタリアやフランスの都市と姉妹都市になる ・筑紫地域で連携 ・市民目線で大学、民間活動の協働出来ることを検討。 ・隣接市町村との連携・スポーツ文化との連携（興味を持つ人の間口を広げる為）	
参加費等への支援	8 件
・コミュニティセンターでの無料の映画上映の実施 ・低料金又は無料で誰でも参加できるイベントの実施 ・市民なら安価で入場できる絵画展、オーケストラコンサートなどを企画 ・無料の発表会や展示会等の開催	

情報発信体制の充実	20 件
・ 情報発信担当の人（キュレーターの）が広報誌やSNSで市民目線で発信。イベントの主催者が情報発信すると思いが強すぎて伝わらない（受け手からすると引いてしまう）ことがある。 ・ 市内のスーパー、コンビニの目立つ所に、まどかぴあの広報「アテナ」を置く など ・ 多くの人を利用する駅やバス停、店に広告などを貼って、情報を拡散 ・ SNSや動画投稿サイトの活用（多くの人から、コメントや応援メッセージを貰えると次の創作への意欲に繋がる） など	
人材育成（学校現場での芸術文化活動の充実）	16 件
・ 息の長い活動をしているものに対する支援 ・ 小学校で行われているまどかぴあ芸術教室が素晴らしい。中学校でも実施してほしい。 ・ 芸術文化に縁の無いまま過ごす人がないように幼稚園、小学校、中学校、教育機関に出張して芸術文化の重要さを伝える。 ・ 学校との連携 ・ 地域で活動している方々をボランティア講師として迎える授業の実施 ・ 幼い乳幼児の時から芸術にふれさせて、小学生になる頃には何かしらの活動に参加させる事で芸術文化に親しんでゆく環境を調える ・ 小中学校への演劇等の鑑賞の機会を増やす。 ・ 資格取得や音楽やスポーツ、語学関係講座の体験を増やす ・ 才能などある人の育成を手助けする など	
文化を通じた世代を超えた交流	7 件
・ 高齢者・幼児間等の違年代交流の図れる芸術文化催事企画 ・ 各世代の得意分野をいかした役割分担をし、各世代で交流を兼ねた対決を行う ・ 芸術文化を通じた市民の世代間交流 ・ 高齢者、障がい者に優しい場の提供 など	
大野城独自の文化活動の充実	8 件
・ 大野城市に住んでいるという特権を活用できるようなイベントの実施 ・ 大野城市らしい他にはない芸術文化のアピール など	
イベント実施時間の検討	8 件
・ 平日夜にイベントを実施してほしい。 ・ イベントは2部制にしたらどうか。 など	
その他	89 件
・ 市がやることなく、民間がやっているレベルの高いものが重要 ・ 国際交流 ・ 美術館がほしい ・ 特になし など	

第3部 調査票

平成30年度芸術文化に関する市民アンケート調査

【回答方法】

- ① 回答は質問にしたがって、あてはまるものの番号に○をつけてください。
- ② 質問ごとに「1つ」「あてはまるものすべて」などの指定がある場合は、その指定に従って回答してください。また、質問によっては、回答した理由を記載するところもありますので、()の中に回答理由を簡潔に記入してください。
- ③ 選択肢中の「その他」に○をした場合には、()の中に具体的内容を記入してください。

I あなたのことについて

問1 あなたの性別を教えてください。(1つに○をつけてください)

1. 男性 2. 女性 3. その他 ()

問2 あなたの年齢を教えてください。(1つに○をつけてください)

1. 10代 2. 20代 3. 30代 4. 40代
5. 50代 6. 60代 7. 70代以上

問3 あなたの職業等について教えてください。(1つに○をつけてください)

1. 芸術文化関係 2. 自営業・自由業 3. 会社員
4. 公務員 5. パート・アルバイト
6. 専業主婦(主夫) 7. 学 生
8. 無 職 9. その他 ()

問4 あなたはどのコミュニティ地区に住んでいますか。(1つに○をつけてください)

1. 南地区コミュニティ(南ヶ丘1区、南ヶ丘2区、牛頸区、平野台区、
月の浦区、つつじヶ丘区、若草区)
2. 中央地区コミュニティ(瓦田区、白木原区、東大利区、下大利団地区、下大利区、上大利区)
3. 東地区コミュニティ(中区、乙金区、乙金東区、大池区、乙金台区、井の口区、釜蓋区)
4. 北地区コミュニティ(畑詰区、仲島区、山田区、下筒井区、上筒井区、雑餉隈町区、栄町区)

問5 あなたは大野城市にどのくらい住んでいますか。(1つに○をつけてください)

1. 3年未満 2. 3～5年未満 3. 5～10年未満
4. 10～20年未満 5. 20～30年未満 6. 30年以上

問6 あなたの休日を教えてください。(1つに○をつけてください)

1. 平日(月～金) 2. 土日・祝日 3. 不規則
4. その他 () 5. 無し

Ⅱ 芸術文化活動について

問7 この1年間に、どのくらいの頻度で、外出して芸術文化を鑑賞しましたか。

(それぞれ1つに○をつけてください)

※自宅での鑑賞は含みません

		年に 1～2回 程度	3ヶ月に 1～2回 程度	月に 1～2回 程度	週に 1回 以上	しなかった
1	文学（小説、詩、俳句、短歌など）	1	2	3	4	5
2	音楽（クラシック、ポピュラー、合唱など）	1	2	3	4	5
3	美術（絵画、彫刻、工芸、陶芸など）	1	2	3	4	5
4	写真（ポートレート、風景、スナップ写真など）	1	2	3	4	5
5	演劇（現代劇、ミュージカルなど）	1	2	3	4	5
6	舞踊（バレエ、ダンスなど）	1	2	3	4	5
7	メディア芸術（映画、漫画、アニメなど）	1	2	3	4	5
8	伝統芸能（雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など）	1	2	3	4	5
9	芸能（講談、落語、浪曲、漫談、漫才など）	1	2	3	4	5
10	生活文化（茶道、華道、書道など）	1	2	3	4	5
11	国民娯楽（囲碁、将棋など）	1	2	3	4	5
12	その他（ ）	1	2	3	4	5

問8 芸術文化を鑑賞するために出かけた場所はどこですか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1. 大野城まどかぴあ	2. 市内コミュニティセンター
3. 市内公民館	4. 大野城心のふるさと館
5. 大野城市総合体育館（まどかパーク）	
6. 市内のその他の施設、場所（ ）	
7. 市外のその他の施設、場所（ ）	
8. 出かけなかった	

問9 外出して芸術文化を鑑賞しなかった理由を教えてください。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1. 自宅で鑑賞している
2. 仕事が忙しくて時間がとれない
3. 家庭の事情で忙しくて時間がとれない
4. 入場料などの費用がかかりすぎる
5. 出かけたいと思う芸術文化の催しがない
6. 芸術文化の催しに関する情報が少ない
7. 鑑賞の仕方がわからない
8. 近くで芸術文化の催しが開催されていない
9. 一緒に楽しむ仲間が少ない (いない)
10. 移動手段がない
11. 興味がない
12. 芸術文化を鑑賞しない特別な理由はない
13. その他 ()

問10 この1年間に、鑑賞以外に、どのくらいの頻度で、芸術文化活動(講座の受講や、習い事も含む)を行いましたか。(それぞれ1つに○をつけてください)

		年に 1～2回 程度	3ヶ月に 1～2回 程度	月に 1～2回 程度	週に 1回 以上	しなかった
1	文学(小説、詩、俳句、短歌など)	1	2	3	4	5
2	音楽(クラシック、ポピュラー、合唱など)	1	2	3	4	5
3	美術(絵画、彫刻、工芸、陶芸など)	1	2	3	4	5
4	写真(ポートレート、風景、スナップ写真など)	1	2	3	4	5
5	演劇(現代劇、ミュージカルなど)	1	2	3	4	5
6	舞踊(バレエ、ダンスなど)	1	2	3	4	5
7	メディア芸術(映画、漫画、アニメなど)	1	2	3	4	5
8	伝統芸能(雅楽、能楽、文楽、歌舞伎など)	1	2	3	4	5
9	芸能(講談、落語、浪曲、漫談、漫才など)	1	2	3	4	5
10	生活文化(茶道、華道、書道など)	1	2	3	4	5
11	国民娯楽(囲碁、将棋など)	1	2	3	4	5
12	その他 ()	1	2	3	4	5

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

- (あてはまるものすべてに○をつけてください)

Ⅲ 情報入手手段と事業の認知度について

問 14 あなたは大野城市の芸術文化に関する情報を、主に何から得ていますか。

(あてはまるものすべてに○をつけてください)

1. 新聞、書籍、雑誌	2. 市・まどかぴあの広報
3. タウン誌、フリーペーパー	4. チラシ・ポスター
5. テレビ、ラジオ	6. 市・まどかぴあのホームページ、SNS
7. 6以外のホームページ	8. 個人のSNS
9. 市・まどかぴあなどの窓口	10. 家族・友人・知人からの口コミ
11. 特に何からも得ていない	12. その他 ()

問 15 次の事業について、あてはまるものを選んでください。

(それぞれ1つに○をつけてください)

		参加したことがある	参加したことはないが知っている	知らない
1	ふくしフェスティバル	1	2	3
2	みんなのチャレンジアート展	1	2	3
3	歌謡音楽のつどい	1	2	3
4	地域での文化祭	1	2	3
5	中学生・高校生交流の翼	1	2	3
6	国際交流協会による文化講座	1	2	3
7	国際交流フェスティバル	1	2	3
8	英語・日本語スピーチコンテスト	1	2	3
9	おおの山城大文字まつり	1	2	3
10	ジュニアときめき文化祭	1	2	3
11	まどか文化祭	1	2	3
12	ジュニア文化交流事業	1	2	3
13	まどかフェスティバル	1	2	3

問 16 次の大野城まどかぴあ実施事業について、あてはまるものを選んでください。

(それぞれ1つに○をつけてください)

		参加したことがある	参加したことはないが知っている	知らない
1	大野城市民吹奏楽団・中学3年生ジョイントコンサート	1	2	3
2	大野城まどかぴあ版画ビエンナーレ	1	2	3
3	深夜放送同窓会	1	2	3
4	マスクプレイミュージカル	1	2	3
5	まどかぴあシネマランド	1	2	3
6	ティータイムコンサート	1	2	3
7	まどかぴあ市民大学「おとなの楽校」	1	2	3
8	佐藤陽子名誉館長コンサート	1	2	3
9	アウトリーチ事業（小中学校芸術体験教室）	1	2	3

IV 大野城市の芸術文化の将来について

問 17 あなたは大野城市の芸術文化施策に満足していますか。（1つに○をつけてください）

1. 満足している
2. ある程度は満足している
3. あまり満足していない（理由：_____）
4. 満足していない（理由：_____）
5. その他（_____）

大野城市が、今後「芸術文化を通じたコミュニティによるまちづくり」を推進していくために、必要なことについてお尋ねします。

問 18 世代ごとに、芸術文化活動の充実がどの程度必要だと思われますか。

(それぞれ1つに○をつけてください)

		必要である	ある程度必要である	あまり必要ではない	必要ではない
1	乳幼児期の芸術文化活動	1	2	3	4
2	学校教育の場での芸術文化活動	1	2	3	4
3	学校教育以外の場での青少年の芸術文化活動	1	2	3	4
4	子育て世代の芸術文化活動	1	2	3	4
5	勤労世代の芸術文化活動	1	2	3	4
6	高齢者の芸術文化活動	1	2	3	4

問 19 以下の具体的な施策について、どの程度必要だと思われますか。

(それぞれ1つに○をつけてください)

		必要である	ある程度 必要である	あまり 必要では ない	必要では ない
1	芸術文化活動を行う市民や団体 (地域団体を含む) への支援	1	2	3	4
2	市と芸術文化活動を行う市民や団体 (地域団体を含む) との共働	1	2	3	4
3	民間企業との共働による芸術文化事業への支援	1	2	3	4
4	社会的少数者(障がい者、外国人など) の 芸術文化活動の充実	1	2	3	4
5	医療・福祉の場における芸術文化活動の充実 (介護予防など)	1	2	3	4
6	国際交流の場における芸術文化活動の充実 (異文化交流など)	1	2	3	4
7	観光業・商工業の場での芸術文化活動の充実 (商品開発など)	1	2	3	4
8	環境対策の場での芸術文化活動の充実 (リサイクル品を活用した工作など)	1	2	3	4
9	道路、公園、駅などを利用した 芸術文化活動の充実	1	2	3	4
10	芸術家の育成	1	2	3	4
11	芸術文化事業を企画・運営する人材の育成	1	2	3	4
12	芸術文化活動(鑑賞を含む) を行いやすい 環境の提供	1	2	3	4
13	文化施設や教育施設の充実	1	2	3	4
14	情報発信・情報提供体制の充実	1	2	3	4
15	その他 ()	1	2	3	4

問 20 あなたは、今後、「芸術文化を通じたコミュニティによるまちづくり」にどのような形で関わりたいですか。（あてはまるものすべてに○をつけてください）

- 1. イベントに参加したい
- 2. ボランティアとして、企画・運営に関わりたい
- 3. 主催者として関わりたい
- 4. 研修会に参加したい
- 5. アドバイザーとして関わりたい
- 6. 関わりたくない

（理由：

）

- 7. その他

〔

〕

問 21 大野城市の「芸術文化を通じたコミュニティによるまちづくり」について、あなたのアイデア、提案等をお聞かせください。

質問は以上です。

ご協力ありがとうございました

誠に恐縮ですが、ご記入いただいた調査票を同封の返信用封筒に入れ、8月 31日（金）＜消印有効＞までにお近くの郵便ポストにご投函ください。（切手を貼る必要はありません。）

平成 30 年度芸術文化に関する市民アンケート

調査結果報告書

平成 30 年 10 月

編集・発行 大野城市地域創造部コミュニティ文化課

〒816-8510 大野城市曙町二丁目 2-1

TEL 092-580-1910 FAX 092-573-7791
